

中高大学生を対象とした SDGs意識調査アンケート 調査結果報告書 2021



中高大学生を対象とした
SDGs 意識調査アンケート
調査結果報告書 2021

関西 NGO 協議会

目次

はじめに	…… 3
第一部 アンケート① 関西の中高大学生編	…… 4
アンケート設問一覧	…… 6
単純集計結果	…… 8
クロス集計分析結果	…… 23
第二部 アンケート② ワンフェスユース実行委員編	…… 32
アンケート設問一覧	…… 34
調査結果	…… 36
おわりに	…… 62

はじめに

本冊子は、SDGs について、2021 年度現在の関西のユース世代がどのように理解し、何を考えているかを明らかにすべく、(特活) 関西 NGO 協議会が実施した調査アンケートをまとめたものです。

第一部でご報告するのは、実施規模 1000 人弱で、中学生・高校生・大学生を対象に行ったアンケート調査結果です。全体の単純集計、中学生・高校生・大学生別の単純集計に加え、複数の設問を組み合わせたクロス集計による分析も行いました。

また第二部でご報告するのは、関西 NGO 協議会が事務局を担う、高校生主体の国際協力イベント「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」で、イベント運営・プログラム実施・提言策定を務める高校生実行委員の 17 名を対象としたアンケート調査結果です。こちらは自由記述に比重を置いたアンケートで、紙幅の許す限り、回答を掲載しています。

日本社会におけるユースのプレゼンスの低さは、しばしば課題として挙げられています。しかし、もし SDGs の目指す持続可能な社会が達成されなかった場合に最も大きな被害を被るのは、「将来世代」と言われるユースたちです。そんな「当事者」であるユースたちの「声」を、ぜひこの調査結果報告から汲み取っていただき、学校での学習機会や組織での事業実施などに活かしていただければ、幸いです。



第一部 アンケート① 関西の中高大学生編

第一部では、関西地域の中学生・高校生・大学生を対象に実施したアンケート調査結果を報告します。主にクラス単位や学年単位で複数の学校に協力いただいて実施し、SDGs や日本・世界の課題などに対する関心の高いユースからそうでないユースまで、幅広く回答を集めることができました。校種別を含む単純集計の他、クロス集計による分析も行い、多角的な視点から考察を加えています。

単純集計からは、理解度や関心など複数の項目において、中学生・高校生よりも大学生の方が高い数値を示すことがわかりました。現在、企業にとって SDGs は必要不可欠な視点となりつつあり、大学生は就職活動を通して SDGs に触れる機会が多くあることがその一つの要因であると考えられます。

クロス集計分析では、「SDGs への関心の高さによって貢献できると思うゴールに差が表れるのか」や、「学校の授業で SDGs に触れる頻度が理解や関心に影響を与えているのか」など、複数の設問を掛け合わせることで、単純集計結果のみからは読み取りきれない傾向を探りました。学校の授業で SDGs に触れる頻度の高さが、生徒・学生の理解度や関心の高さすべてに必ずしも直結しているとはいえないことがわかるなど、興味深い分析結果が出ています。

詳細は、以下の調査結果（単純集計結果・クロス集計分析結果）にてご確認ください。なお、自由記述は無作為で抽出した 6~10 個の回答を掲載しています。また、掲載しているすべての自由記述について、ユース自身の回答をなるべくそのまま掲載できるよう、誤字脱字は最小限の修正としました。

■調査対象

関西地域の中学生・高校生・大学生（私立・国公立双方を含む）

■回答数

Web：675名／紙：299名（合計：974名）

■調査期間

2021年12月19日（日）～2022年2月16日（水）

■調査方法

インターネット上のアンケートフォームにて回答依頼、回収（Web 回収分）
インターネットのアンケートフォームと同内容のアンケート用紙にて回答依頼、回収（紙回収分）

（主に、学校関係者に協力を依頼し、実施・回収をしました。）

※以下は Web 回収分・紙回収分に共通する留意点です。

・<問 1-1.SDGs を知っていますか>で<④全く知らない（初めて聞いた）>を選択した場合、その後の問は（答えていたとしても）全て回答していないものとしています。（該当票：Web3 件、紙 30 件）

・<問 3-1.SDGs に関する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください>で<この中に知っているものはない>と他の選択肢を同時に選択している場合は、<この中に知っているものはない>の選択を無効としています。（該当票：Web6 件、紙 0 件）

・校種で<その他>（中学 1~3 年・高校 1~3 年・大学 1~4 年以外）が選択されたものは、【全体】の集計には含めていますが、【校種別】の集計には含めていません。（該当票：Web3 件、紙 0 件）

※以下は Web 回収分についての留意点です。

・時間を空けずに連続して、自由記述を含め全く同じ内容の回答が送信されていた場合、同一人物の回答と見なし、一方を無効票としています。（無効票：9 件）

※以下は紙回収分についての留意点です。

・表面または裏面にしか回答が無かったものは無効票とし、集計結果に入れていません。ただし上記「■回答数」には含みます。（無効票：30 件）

・【必須】の問に答えていない場合、単純集計結果では<無回答>としてカウントし、クロス集計分析結果では総数から抜いてカウントせずに分析を行っています。（該当票：合計 14 件）

・【3 つまで選択可】の問で 4 つ以上選択している場合、単純集計結果およびクロス集計分析双方で、そのままカウントしています。（該当票：合計 5 件）

■回答者属性

学校の所在地（都道府県）別：滋賀県 50 名、京都府 80 名、大阪府 390 名、兵庫県 422 名、奈良県 2 名

校種別：中学生 104 名、高校生 647 名、大学生 190 名、その他 3 名

アンケート設問一覧

問 1-1 SDGs を知っていますか【必須】

※④全く知らない（初めて聞いた）を選択された方は、これ以降の設問には回答せずにご提出ください。

- ①理解していて説明ができる ②何となくは理解している
③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない ④全く知らない（初めて聞いた）

問 1-2 SDGs を知ったきっかけは何ですか【3 つまで選択可・必須】

- ①テレビ / ラジオ / 新聞 ②雑誌 / 書籍 ③インターネット（SNS 以外）
④ SNS ⑤企業の取組 ⑥小学校 ⑦中学校 ⑧高校
⑨職場 / 仕事 / アルバイト先 ⑩家族 / 知人 / 友人 ⑪その他

問 2-1 SDGs に関心がありますか【必須】

- ①とても関心がある ②関心がある ③どちらともいえない
④あまり関心がない ⑤全く関心がない

問 2-2 SDGs の 17 のゴールのうち、ご自身がより気になるものはどれですか【3 つまで選択可・必須】

1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 2-2(1) その理由は何ですか【任意】

問 3-1 SDGs に関係する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください【必須】

- ①「行動の 10 年」 ②「5 つの P」 ③「誰ひとり取り残さない」
④「エシカル」 ⑤「サステナブル」 ⑥「MDGs」 ⑦「169 のターゲット」
⑧「2030 アジェンダ」 ⑨「メジャーグループ」
⑩この中に知っている言葉はない

問 3-2 なぜ今、SDGs が重要視されていると思いますか<回答例：このままだと環境破壊が進んでしまうから>【任意】

問 3-3 SDGs の 17 のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 3-4 SDGs の 17 のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 4-1 SDGs 達成のために自分が貢献できると思うゴールはどれですか【複数選択可・必須】

1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・
⑱貢献できるのかわからない・⑲貢献できないと感じている

問 4-2 SDGs 達成のために現在取り組んでいることがありますか【必須】

- ①取り組んでいることがある ②取り組んでいることはない

問 4-2(1) SDGs 達成のために取り組んでいることがあれば、書き出してください【任意】

問 5-1 普段、SDGs の情報をどのように得ていますか【複数選択可・任意】

- ①テレビ / ラジオ / 新聞 ②雑誌 / 書籍 ③インターネット（SNS 以外）
④ SNS ⑤企業の取組 ⑥学校 ⑦職場 / 仕事 / アルバイト先
⑧家族 / 知人 / 友人 ⑨その他

問 5-2 学校の授業で SDGs に触れる機会はどれくらいですか【必須】

- ①毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④年に数回程度 ⑤機会がない

問 5-3 周囲の人と SDGs の話をする機会はどれくらいですか【必須】

- ①毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④年に数回程度 ⑤機会がない

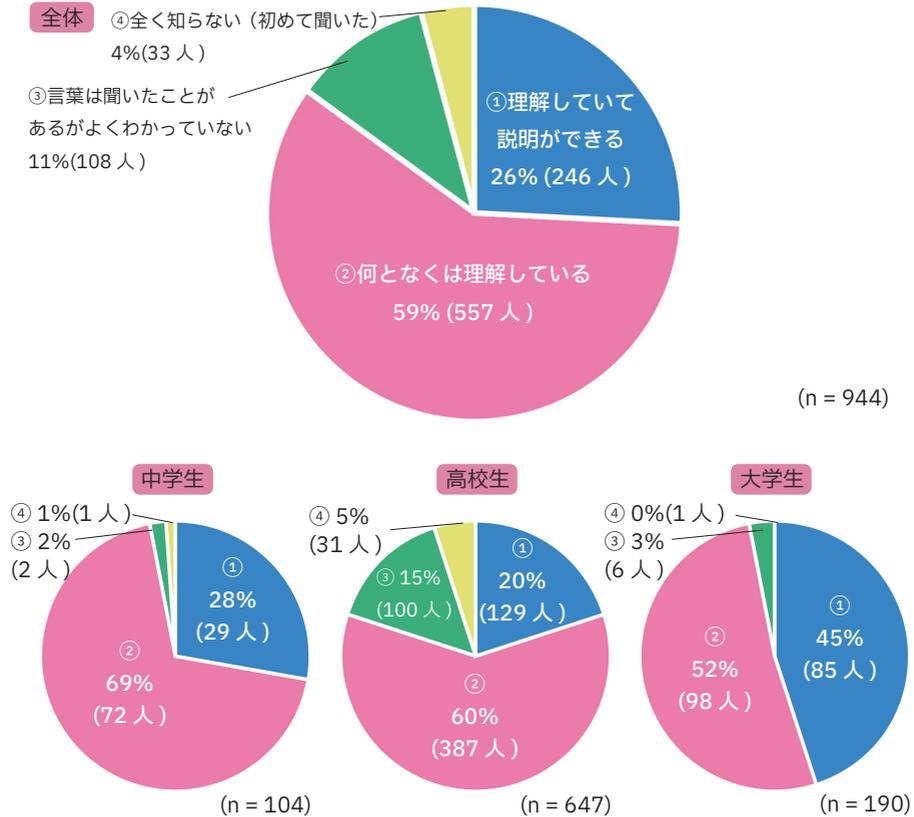
問 6 アイデア（授業、イベントの企画なども含む）・考え・思いなど、SDGs に関することを何でも自由に記入してください【任意】

SDGs の 17 のゴール

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリシップで目標を達成しよう | |

調査結果 (単純集計結果)

問 1-1 SDGs を知っていますか【必須】



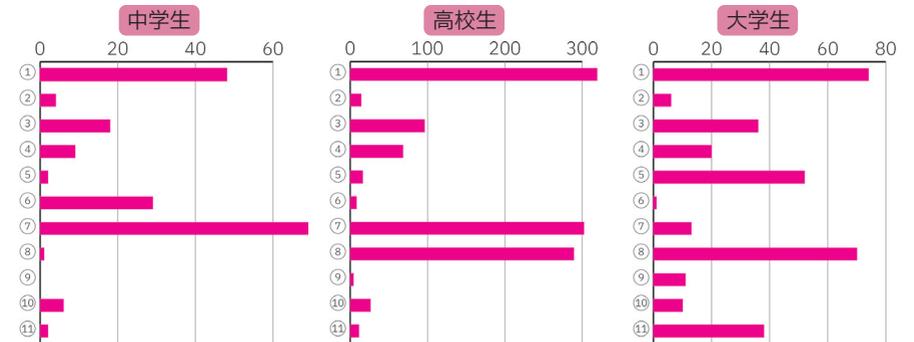
comment!

どの校種においても、<④全く知らない(初めて聞いた)>が極めて少数になっており、ユース世代においてSDGsが広く浸透してきたことが伺えます。

問 1-2 SDGs を知ったきっかけは何ですか【3つまで選択可・必須】

全体

(単位:人)



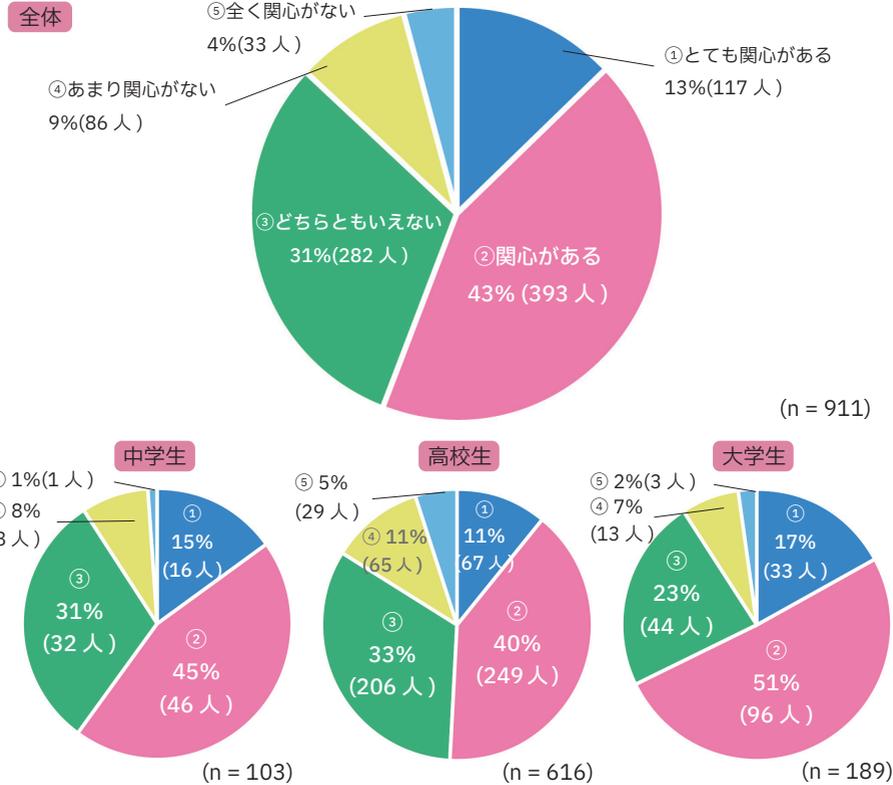
⑪その他の回答

- ・大学 (21名)
- ・塾 (2名)
- ・覚えていない・わからない・忘れた (3名)
- ・電車のSDGs コラボの車両をみて、職業体験先、ボランティア仲間 (各1名)

comment!

各グラフ上部の<①テレビ・ラジオ・新聞>から、メディアの影響力の大きさが顕著に表れていることがわかります。また、各グラフ中央の<⑥小学校>・<⑦中学校>・<⑧高校>を見ると、学校で学んだことがきっかけとなっている人も多いようです。校種別で見ると、大学生の<⑤企業の取組>の数値の高さが目立ちますが、これは就職活動による影響が大きいものと考えられます。

問 2-1 SDGs に関心がありますか【必須】



comment!

中学生・高校生の数値がかなり近い結果となった一方で、それらに比べて大学生の関心の高さ（＜①とても関心がある＞・＜②関心がある＞の合計が68%）が見て取れます。また全体的に、＜③どちらともいえない＞や＜④あまり関心がない＞・＜⑤全く関心がない＞よりも＜①とても関心がある＞・＜②関心がある＞の方が大きな割合を占めていることから、ユース世代の間で、SDGsの認知度と共に関心も高まっていると言えます。

問 2-2 SDGsの17のゴールのうち、ご自身がより気になるものはどれですか【3つまで選択可・必須】



問 2-2(1) その理由は何ですか【任意】

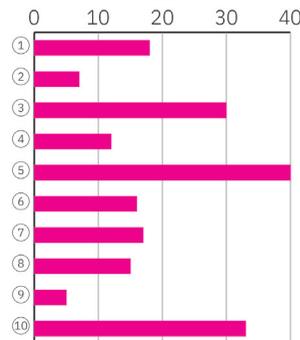
- ・海とかには人間のゴミとかがいっぱいあるから
- ・僕が魚好きで釣りをするから
- ・ジェンダーはタイムリーな話題だから。飢餓、貧困はずっとある問題だから
- ・私達は今はキレイな水を飲んだりする事が普通だと思っているけれど世界ではそうではないという現状があるから。全ての人が必要最低限度の暮らす事を実現する必要がある
- ・自分でも取り組みやすい内容だから
- ・地球の問題と言われたときによく例として挙げられるから

問 3-1 SDGs に関する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください【任意】

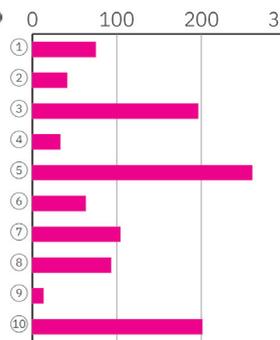
全体



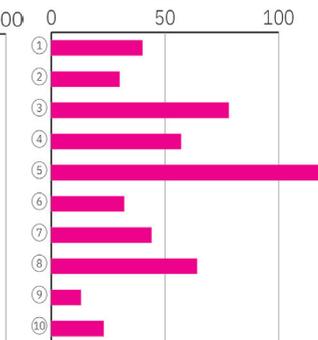
中学生



高校生



大学生



comment!

第二部【ワンフェスユース実行委員編】でも同様の結果が見て取れますが、**<⑤サステナブル>** (各グラフ中央) という言葉が最も浸透しているようです。一方で、中学生・高校生に比べて、大学生の**<④エシカル>**の数値が高くなっています。「エシカル就活」という言葉もありますが、**<問 1-2.SDGs を知ったきっかけは何ですか>**の結果からも推測されるように、今の大学生にとって就職活動は、SDGs を知るまたは考える一つのきっかけとなっていると考えられます。

問 3-2 なぜ今、SDGs が重要視されていると思いますか<回答例：このままだと環境破壊が進んでしまうから>【任意】

- ・このままだと良くないから
- ・地球温暖化がものすごい勢いで進んでいて、北極グマが亡くなっているから
- ・持続可能な社会にするため、資源枯渇が懸念される今後の社会に改善策を投じるため
- ・このままだと未来の世代が地球に継続して住んでいくのが困難になるから
- ・今世界で起こっている様々なマイナスな事は全て人間によって及ぼされているため、これ以上悪化させないように意識させるため
- ・大人たちがやっと、さすがにこのままではヤバイと気づき始めたから
- ・地球温暖化の影響（気温上昇・異常気象など）が例年ひどくなっていて早めに対策を練らなければいけないから



問 3-3 SDGs の 17 のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

全体

(単位:人)



中学生

高校生

大学生



comment!

全体・校種別ともに、<ゴール 5：ジェンダー平等を実現しよう>の数値の高さが目立ちます。次の<問 3-4.SDGs の 17 のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか>では<ゴール 5>はあまり票数を集めていないことと考え合わせると、世界の中で見た日本の課題として、コースの間でジェンダー平等が認識されていると言えるでしょう。

問 3-4 SDGs の 17 のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

全体

(単位:人)



中学生

高校生

大学生



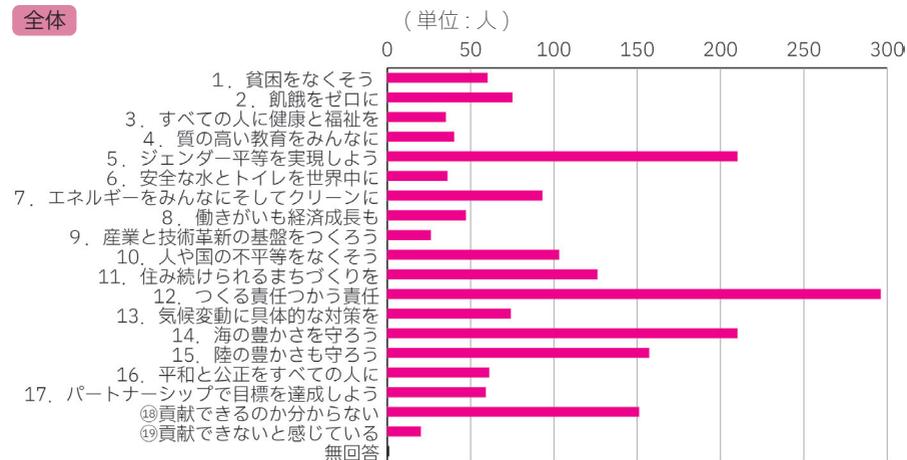
comment!

<問 3-3.SDGs の 17 のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか>に続いて、中学生・高校生・大学生それぞれの結果が、お互いに関わり近いものとなりました。日本での課題と世界での課題について、中学生・高校生・大学生の間で認識に大きな相違は無いようです。

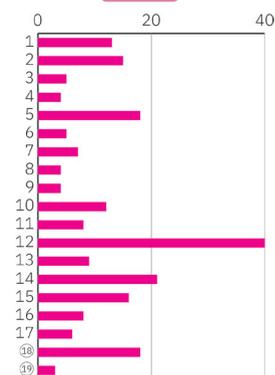
問 4-1 SDGs 達成のために自分が貢献できると思うゴールはどれですか

【複数選択可・必須】

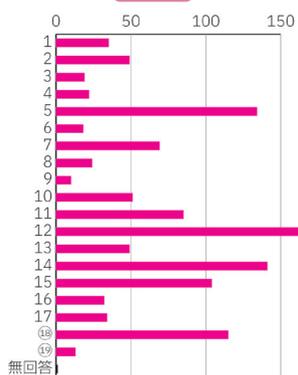
全体



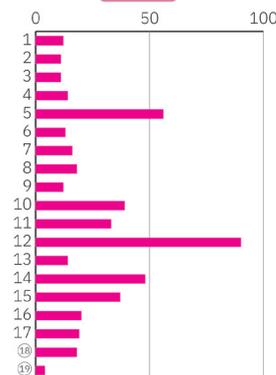
中学生



高校生



大学生

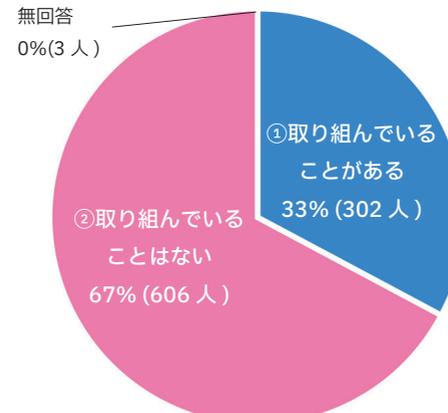


comment!

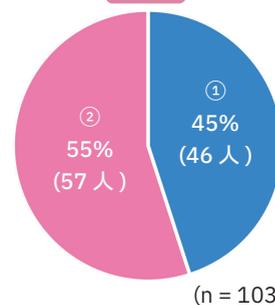
＜ゴール 5：ジェンダー平等を実現しよう＞・＜ゴール 12：住み続けられるまちづくりを＞の数値の高さなど、全体・中学生・高校生・大学生の全てで共通して見られる傾向もありますが、各グラフ下部の＜18. 貢献できるのか分からない＞に注目してみると、大学生が他に比べて著しく低い数値を示していることがわかります。この結果からその要因までを読み取ることは難しいですが、大学に入って学びが専門化の中で、コースがSDGsを自身に引き付けて「自分事」として捉えることができるようになってきていることの結果として、＜⑱ 貢献できるのか分からない＞・＜⑲ 貢献できないと感じている＞の数値が下がっているのであれば、それはとても喜ばしいことだと感じます。

問 4-2 SDGs 達成のために現在取り組んでいることがありますか【必須】

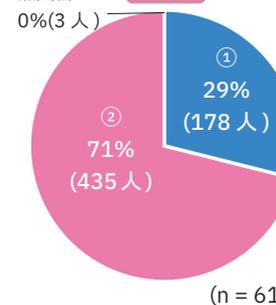
全体



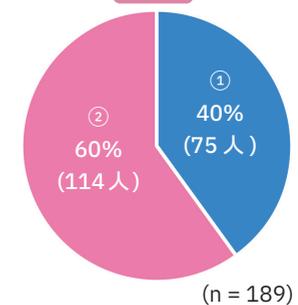
中学生



高校生



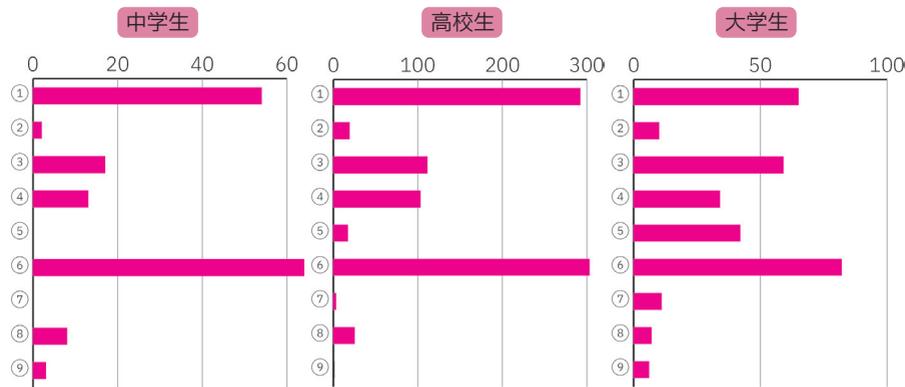
大学生



問 4-2(1) SDGs 達成のために取り組んでいることがあれば、書き出してください【任意】

- ・電気の節約
- ・エシカルを意識した消費行動、食品の生産地や生産方法などを意識する、飛行機や自家用車より電車やバスを選ぶ
- ・フードロスしない
- ・電気をすぐ消している
- ・フェアトレードの商品を購入、使用している
- ・むだ使いせずさいごまで使うこと
- ・食品ロスを出不さない、プラスチック製のものを極力しようしない

問 5-1 普段、SDGs の情報をどのように得ていますか【複数選択可・必須】



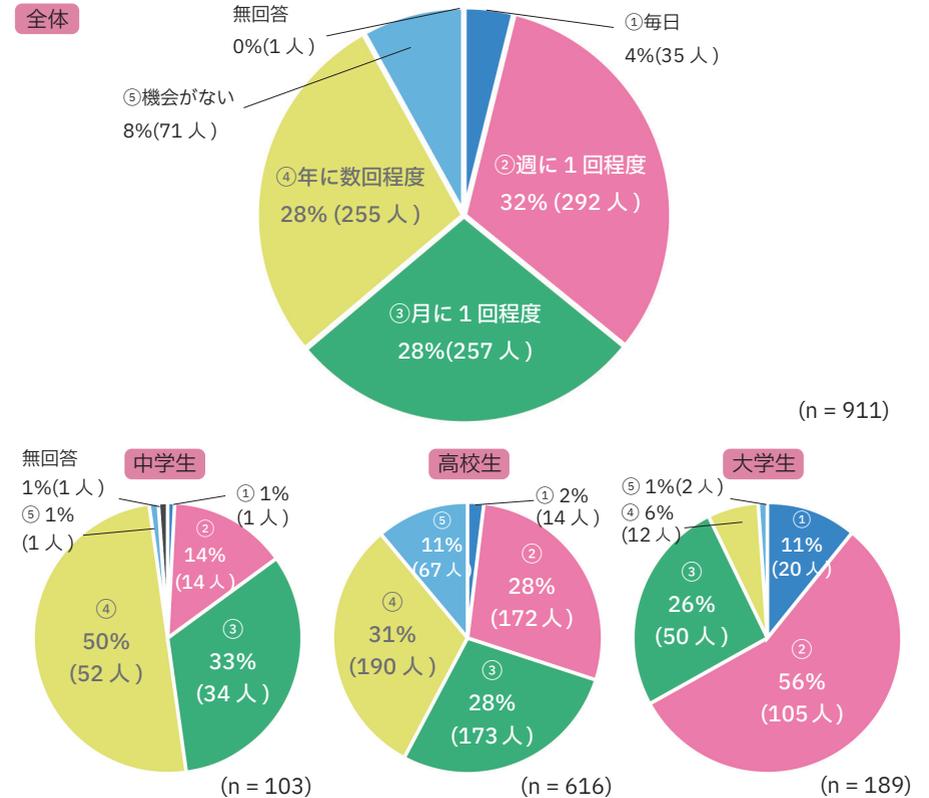
⑨その他の回答

- ・大学 (2名)
- ・講演会、電車、塾の探求授業 (各1名)

comment!

＜問 1-2.SDGs を知ったきっかけは何ですか＞の結果とも重ね合わせると、やはりメディアと学校が大きな影響力を持っていることが推測されます。どちらも、SDGs の実践面だけでなく周知や理解の促進という面でも大きな役割を担っていると言える存在です。両者には、その影響力や役割の大きさを自負し、偏りのない、そして質の高い、報道や学習機会の提供をこれからも行ってほしいと考えます。(関連する分析をクロス集計分析結果内(p.24)でも行っています。)

問 5-2 学校の授業で SDGs に触れる機会はどれくらいですか【必須】

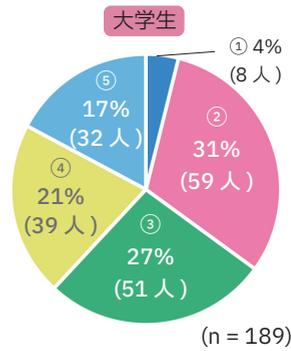
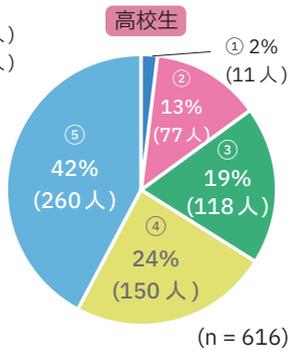
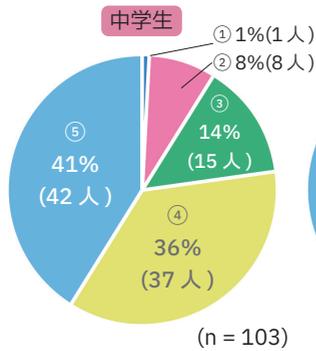
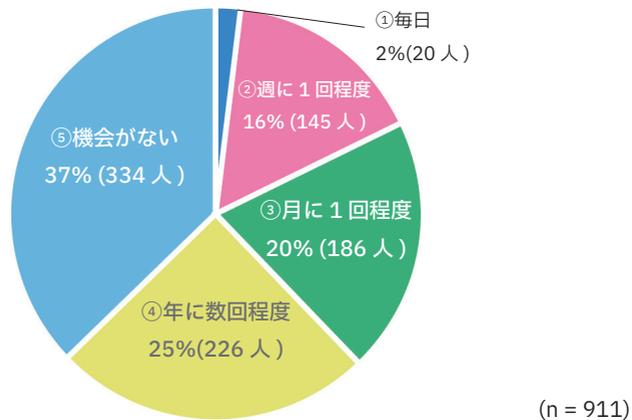


comment!

校種別の結果でかなり大きな差が見られました。具体的には、年次が上がるほど、学校の授業でSDGsに触れる機会が極端に多くなっています。後にクロス集計分析結果においても同様の視点から考察を行っていますが(p.30)、このことは理解度の高さや関心の高さ(どちらも大学生が最も高い数値を示しました)にも影響を与えていると考えられます。

問 5-3 周囲の人と SDGs の話をする機会はどれくらいですか【必須】

全体



問 6 アイデア（授業、イベントの企画なども含む）・考え・思いなど、SDGs に関することを何でも自由に記入してください【必須】

- ・海をきれいにしてプラスチックを減らしたいです
- ・SDGs を実現するためのこまかい目標が大切
- ・もっと楽しく知れる方がいい。どうしてもめんどくさいと思われがちだから
- ・ゴミ問題や貧困など、テレビなどで大まかに紹介されることが多いが、そこからたくさん問題に繋がっていて、それを知らない人が多いのが、課題であると思う
- ・ポスト SDGs についても気になる
- ・地域の小学生で、ゴミ拾いをする
- ・人口を減らす。そしたら人類が減ぶタイムリミットを延ばせる
- ・教育に関しては生徒主体的にやった方が良いのではないかと思います。授業をしているだけで頭に入るのはごく一部の天才的な頭脳を持っている方々だけだと思います
- ・大学生と小～高校生との合同企画イベント。大学生は教える、小～高校生は教わることでそれぞれのステージで様々な形での学びを得られる
- ・一回高校のときに自分たちで考えたのは、食料廃棄を減らすために、一般的には廃棄される野菜などもキッチンカーでスープとかにして販売するという提案をしました。少しでも社会貢献できるように、自分でできることを考えて実践に移したいと思いました



comment!

この図は、無作為抽出しているもの以外も含め、<問 6. アイデア（授業、イベントの企画なども含む）・考え・思いなど、SDGs に関することを何でも自由に記入してください>の全ての回答をテキストマイニングツールでワードクラウド化したものです。やはりここでも「ジェンダー」というキーワードが大きく表れています。ジェンダー以外にも「貧困」→<ゴール 1：貧困をなくそう>、「平等」→<ゴール 5：ジェンダー平等を実現しよう>・<ゴール 10：人や国の不平等をなくそう>、「住みにくい」「住みやすい」→<ゴール 11：住み続けられるまちづくりを>といったように、複数の言葉から SDGs のゴールが連想されます。

また第二部【ワンフェスユース実行委員編】でも同様のテキストマイニングを行っています。どちらにも「人権」という言葉は現れませんでした。人権は、SDGs を考え実践していく上でとても大切な、17 のゴールすべてに通ずるキーワードです。そのことを、私たち NGO はこれからも声を大にして伝え続けなければならないと改めて感じます。

1 出現頻度が高い検索ワードを集めた図。スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。User Local AI テキストマイニング使用 (<https://textmining.userlocal.jp/>)。



調査結果 (クロス集計分析結果)

分析協力：株式会社ファンドレックス

問 1-1 SDGs を知っていますか × **問 3-1** SDGs に関する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください（複数選択可）

理解度の違いによって、知っている言葉の数や種類にどのような差が表れるかを検証しました。

<問 1-1 >で<①理解していて説明ができる>を選択した人の方が、<②何となくは理解している>や<③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない>を選択した人よりも多くの言葉を知っている傾向にあります（表 1）。一方で、①を選択した人の中でも、選択した言葉の数が少ない人の方が多いという結果にもなっており、本アンケートで選択肢として提示した言葉は、「理解していて説明ができる」人たちにとっても馴染みの薄いものが多かったと考えられます。

表 1 (問 1-1 のそれぞれの選択肢の回答数を母数として、各行の割合を表示)

言葉の数	問1-1. SDGsを知っていますか			総計
	①理解していて説明ができる	②何となくは理解している	③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない	
0個	11.4%	28.7%	63.9%	257
1個	19.9%	34.6%	29.6%	274
2個	18.3%	19.0%	3.7%	155
3個	20.3%	7.7%	0.9%	94
4個	11.0%	5.6%	0.9%	59
5個	6.9%	2.7%	0.0%	32
6個	8.1%	0.9%	0.0%	25
7個	2.4%	0.4%	0.0%	8
8個	0.0%	0.2%	0.0%	1
9個	1.6%	0.2%	0.9%	6
総計	100.0%	100.0%	100.0%	911

具体的な言葉ごとの結果を見ると、単純集計結果の方でも出ていた通り、やはり「サステナブル」という言葉の浸透率の高さが顕著に表れています（表2）。<問1-1>で<③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない>を選択した人であっても、約4人に1人（24.1%）はこの言葉を知っていることとなります。

メディアはコースにとってSDGsに触れる主要な機会の一つであるということが、既に単純集計結果からわかっていますが、実際テレビなどでSDGsに関連する情報を見聞きすることは増えました。その内容は、SDGsの17のゴールやそれに伴う具体的な課題、あるいは課題解決のための取り組みなどに、「サステナブル」や時には「誰ひとり取り残さない」といった観点から焦点が当てられることが多いです。しかし、表面上の理解に留まるのではなく「今なぜSDGsなのか」ということを世界の流れの中で理解するためには、SDGsが策定された過程やどのような文脈の中に位置づけられたものなのか（「MDGs」からの流れなど）、またSDGsが記載された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理解など、SDGsそのものの深掘りも大切だと感じます。

またメディアと並んでSDGsに触れる主要な機会である学校においても、そうした意識を持った学習機会が今後さらに増えていくことを願います。

表2（問1-1のそれぞれの選択肢の回答数を母数として、各行の割合を表示）

問1-1. SDGsを知っていますか					
業問に3 チフ エイ1 ッて ク、 を 知 入 つ て い る に だ も 開 き の 係 を 全 す て る に 言		①理解して説明ができる	②何となくは理解している	③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない	合計
	①「行動の10年」	19.9%	14.2%	5.6%	134
	②「5つのP」	14.2%	7.4%	1.9%	78
	③「誰ひとり取り残さない」	54.5%	29.3%	9.3%	307
	④「Eシカル」	24.8%	7.4%	1.9%	104
	⑤「サステナブル」	66.3%	42.0%	24.1%	423
	⑥「MDGs」	24.0%	9.0%	2.8%	112
	⑦「169のターゲット」	33.7%	14.5%	2.8%	167
	⑧「2030アジェンダ」	33.3%	16.0%	2.8%	174
	⑨「メジャーグループ」	5.7%	2.9%	0.9%	31
	⑩この中に知っている言葉はない	11.4%	28.7%	63.9%	263
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	944

問2-1 SDGsに関心がありますか × 問4-1 SDGs達成のために自分が貢献できると思うゴールはどれですか（複数選択可）

関心の高さによって、貢献できると思うゴールの数や種類にどのような差が表れるかを検証しました。

<問2-1>で見た関心の高さの違いによって、<問4-1>で<自分が貢献できると思うゴール>として選択したゴールの数にも違いが出ていたことがわかります（表3）。また<⑩貢献できるのか分からない>・<⑪貢献できないと感じている>を選択した人の数にも顕著に違いが表れていて、関心が下がるほどその数値が大きくなっています。

表3（問2-1のそれぞれの選択肢の回答数を母数として、各行の割合を表示）

問4-1 思う SDGs はど 達成 する た め に 自 分 が 貢 献 で き る ゴ ール は ど れ か を 選 択 し て い ら せ う か	問2-1. SDGsに関心がありますか					総計
	①とても関心がある	②関心がある	③どちらともいえない	④あまり関心がない	⑤全く関心がない	
1個	21.4%	34.9%	41.5%	44.2%	24.2%	324
2個	17.1%	22.6%	15.6%	16.3%	15.2%	172
3個	31.6%	21.6%	17.4%	10.5%	6.1%	182
4個	6.8%	5.9%	3.2%	0.0%	0.0%	40
5個	7.7%	2.5%	1.4%	0.0%	0.0%	23
6個	6.8%	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	15
7個	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3
8個	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1
9個	1.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3
10個	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1
12個	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
17個	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%	3.0%	3
⑩選択者	7.7%	10.2%	23.4%	26.7%	39.4%	151
⑪選択者	0.9%	1.5%	0.7%	5.8%	18.2%	20
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	911

具体的にどのゴールを選択しているのかというところに目を向けてみると（表4）、関心の高い人ほど<ゴール5：ジェンダー平等を実現しよう>と<ゴール12：つくる責任つかう責任>を選択する傾向にあることがわかります。<ゴール5>は、<問2-2.SDGsの17のゴールのうち、ご自身がより気になるものはどれですか>や<問3-3.SDGsの17のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか>においても高い数値が表れていたものですが、<ゴール12>は<問4-1>においてそれらより目立つ数値を示しており、自分自身の消費行動

がSDGsに直接的に繋がっているということが、SDGsへの関心の高いユースの間でしっかりと認識されていることが伺えます。

「関心があるから自分が貢献できることを探し、見つける（関心→貢献）」という人と、「自分が貢献できることを見つけられたから関心をより強くする（貢献→関心）」という人のどちらがより多いのかまでをこの結果から読み取ることはできませんが、後者に当てはまる人を1人でも増やしていくことが、SDGs達成に向けて1人でも多くの人を巻き込んでいくためには大切なのではないのでしょうか。そのためには、既述のように大きな影響力を持つメディアや学校をはじめ、私たちNGOも、ユースが自分が貢献できることを知る機会、つまりSDGsや関連する社会・世界の課題を自分事として考えられるようなきっかけの提供を、今後もより積極的に行っていく必要があると考えます。

表4 (問2-1のそれぞれの選択肢の回答数を母数として、各行の割合を表示)

		問2-1. SDGsに関心がありますか					
		①とても関心がある	②関心がある	③どちらともいえない	④あまり関心がない	⑤全く関心がない	合計
問4-1・SDGs達成のために自分が貢献できると思う	01. 貧困をなくそう	9.4%	6.1%	6.0%	4.7%	12.1%	60
	02. 飢餓をゼロに	14.5%	9.2%	6.4%	2.3%	6.1%	75
	03. すべての人に健康と福祉を	6.0%	3.3%	3.6%	4.7%	3.0%	35
	04. 質の高い教育をみんなに	7.7%	4.3%	3.2%	1.2%	12.1%	40
	05. ジェンダー平等を実現しよう	38.5%	24.4%	19.2%	12.8%	12.1%	210
	06. 安全な水とトイレを世界中に	3.4%	4.8%	2.8%	4.7%	3.0%	36
	07. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12.0%	12.5%	8.5%	4.7%	6.1%	93
	08. 働きがいも経済成長も	6.8%	5.6%	4.3%	4.7%	3.0%	47
	09. 産業と技術革新の基盤をつくろう	2.6%	2.8%	2.8%	3.5%	3.0%	26
	10. 人や国の不平等をなくそう	18.8%	11.5%	11.7%	2.3%	3.0%	103
	11. 住み続けられるまちづくりを	18.8%	15.5%	11.0%	10.5%	9.1%	126
	12. つくる責任つかう責任	53.0%	39.9%	22.1%	14.0%	9.1%	296
	13. 気候変動に具体的な対策を	20.5%	6.9%	6.0%	3.5%	9.1%	74
	14. 海の豊かさを守ろう	32.5%	24.2%	21.0%	15.1%	15.2%	210
	15. 陸の豊かさを守ろう	24.8%	19.6%	14.2%	8.1%	12.1%	157
	16. 平和と公正をすべての人に	8.5%	8.4%	4.3%	5.8%	3.0%	61
	17. パートナリシップで目標を達成しよう	11.1%	6.1%	5.7%	5.8%	3.0%	59
	◎貢献できるのかわからない	7.7%	10.2%	23.5%	26.7%	39.4%	151
	◎貢献できないと感じている	0.9%	1.5%	0.7%	5.8%	18.2%	20
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	910	

問3-3 SDGsの17のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか **問3-4** SDGsの17のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか

日本で深刻だと感じるゴールと世界で深刻だと感じるゴールの組み合わせにどのような傾向が見られるかを検証しました。

まず組み合わせとしては、＜日本：ゴール5（ジェンダー平等を実現しよう）＞×＜世界：ゴール1（貧困をなくそう）・2（飢餓をゼロに）＞が最も色が濃い（数値が大きい）ものとなっています（表5）。これは単純集計結果からも予想し得る結果です。

その次に色の濃いところを見てみると、＜日本：ゴール8（働きがいも経済成長も）・13（気候変動に具体的な対策を）・14（海の豊かさを守ろう）＞×＜世界：ゴール1・2＞となっています。こうしてみると、色の濃いものが＜世界：ゴール1・2＞の列に集中していることがわかります。＜日本：ゴール5＞の行と比べてみてもこちらの方が際立っていて、日本の中での＜ゴール5＞よりも世界の中での＜ゴール1・2＞の方が相対的に、より深刻だと捉えられている様子を読み取れます。

他に、日本と世界の両方で同じゴールを選択した人が最も多かったのが、＜ゴール13：気候変動に具体的な対策を＞でした。第二部【ワンフェスユース実行委員編】では、＜ゴール13＞は日本での深刻なゴールとしてあまり選択されていませんでしたが、こちらの【関西の中高大学生編】では少し異なる結果となりました。実際に日本の気候変動対策は世界から遅れをとっているとしばしば批判されており、COPでも、日本は残念ながら化石賞（環境NGOの世界的ネットワークCANが、COPなどの会期中に気候変動対策に後ろ向きな国に対して批判と皮肉を込めて贈る賞）の常連国になっています。＜ゴール13＞の次に、日本と世界で同じゴールを選択した人が多かったのは＜ゴール1：貧困をなくそう＞です。ここからも、貧困は海外（途上国）だけの課題ではなく、日本にも深く関わるものだというユースの間での認識が伺えます。

表 5

問3-4. SDGsの17のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか																		
	01.	02.	03.	04.	05.	06.	07.	08.	09.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.	合計
01.貧困をなくそう	64	62	24	24	10	20	9	7	3	22	6	6	10	6	3	12	4	113
02.飢餓をゼロに	16	12	2	1	5	4	1	2	0	8	2	0	2	2	2	5	1	29
03.すべての人に健康を福祉を	64	64	23	19	9	27	4	2	1	31	6	2	17	12	6	14	1	114
04.質の高い教育をみんなに	39	44	14	15	6	12	5	4	2	14	3	5	9	6	3	10	3	67
05.ジェンダー平等を実現しよう	195	193	59	68	37	60	20	9	11	80	7	19	76	24	21	49	3	##
06.安全な水とトイレを世界中に	7	5	1	1	3	4	4	1	1	3	2	0	2	2	1	0	0	14
07.エネルギーをみんなにそしてクリーンに	69	64	19	28	8	21	15	4	5	20	3	5	21	7	7	18	1	119
08.働きがいも経済成長も	115	109	39	48	14	44	13	12	7	43	13	8	50	14	9	35	3	##
09.産業と技術革新の基盤をつくろう	22	22	8	13	4	10	3	3	5	10	5	8	14	7	8	4	0	54
10.人や国の不平等をなくそう	56	58	9	17	10	22	4	4	4	24	4	7	22	7	6	15	2	102
11.住み続けられるまちづくりを	82	84	18	27	13	25	15	4	3	32	9	7	32	13	13	25	2	150
12.つくる責任つかう責任	102	90	27	37	20	31	10	4	5	34	6	23	46	21	8	32	6	181
13.気候変動に具体的な対策を	124	120	32	44	16	46	17	7	2	40	5	9	74	15	15	29	3	218
14.海の豊かさを守ろう	117	102	21	35	14	35	14	5	7	38	7	8	29	28	21	20	1	189
15.陸の豊かさを守ろう	43	49	13	7	6	18	9	1	3	17	3	4	16	16	17	5	2	86
16.平和と公正をすべての人に	23	32	9	7	3	11	6	3	1	9	2	4	10	2	7	14	2	54
17.パートナーシップで目標を達成しよう	16	25	6	8	1	7	5	1	0	7	2	2	2	4	1	2	7	39
合計	474	457	126	147	72	158	60	32	23	172	32	44	168	74	60	116	19	##

問 4-2 SDGs 達成のために現在 × **問 4-1** SDGs 達成のために自分
 取り組んでいることがありますか が貢献できると思うゴールはどれ
 ですか（複数選択可）

取り組んでいることがある人が「貢献できると思う」として選択するゴールに何らかの傾向が見られるかを検証しました。

まず、＜ゴール 1~17＞すべてを通して、＜問 4-2＞で①取り組んでいることがある＞の列が＜②取り組んでいることはない＞の列よりも大きな数値を示しています（表 6）。そして、＜⑩貢献できるのか分からない＞・＜⑨貢献できないと感じている＞においてはそれが逆転しています。一つひとつのゴールに目を向けてみると、単純集計結果から予想される通り＜ゴール 5：ジェンダー平等を実現しよう＞・＜ゴール 12：つくる責任つかう責任＞の数値の大きさが目立ちますが、それぞれの数値に取り組んでいることの有無で比較すると、大きな差があることがわかります。つまり、「取り組んでいることがある」人は「取り組んでいることがない」人よりも、「貢献できるゴール」として＜ゴール 5・12＞を選ぶ傾向にあるということです。

また、＜問 4-2(1)SDGs 達成のために取り組んでいることがあれば、書き出して

ください（自由記述）＞の回答内容を見てみると、エコバッグや節電、節水、リサイクル、分別といったものがかなり多くを占めており、そうした自身の取り組みが＜ゴール 12＞を通して SDGs に繋がっていることをきちんと捉えられている人が多いことが伺えます。しかし一方で、そうした個々人の取り組みだけでは、SDGs を通して考えるべき地球規模の課題は解決しないという意見も当然あります。より大きな力を持つ企業や行政などが、足並みを揃えて根本的な解決策を講じる必要があるということです。ではそのために、市民一人ひとりができること、すべきことは何なのか？ 私たち NGO は、1 人でも多くのユースがそうした視点を持って SDGs を考えられるような機会の提供に、これからも、マルチセクターと協働しながら努めていくべきだと感じています。

表 6（問 4-2 のそれぞれの選択肢の回答数を母数として、各行の割合を表示）

問4-2. SDGs達成のために現在取り組んでいることがありますか			
	①取り組んでいることがある	②取り組んでいることはない	合計
01.貧困をなくそう	8.0%	5.8%	59
02.飢餓をゼロに	11.6%	6.6%	75
03.すべての人に健康を福祉を	4.7%	3.5%	35
04.質の高い教育をみんなに	5.6%	3.8%	40
05.ジェンダー平等を実現しよう	29.6%	20.0%	210
06.安全な水とトイレを世界中に	5.3%	3.3%	36
07.エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11.3%	9.6%	92
08.働きがいも経済成長も	5.3%	5.1%	47
09.産業と技術革新の基盤をつくろう	3.7%	2.5%	26
10.人や国の不平等をなくそう	13.6%	10.2%	103
11.住み続けられるまちづくりを	14.0%	13.7%	125
12.つくる責任つかう責任	43.9%	27.1%	296
13.気候変動に具体的な対策を	12.0%	6.3%	74
14.海の豊かさを守ろう	30.9%	19.3%	210
15.陸の豊かさを守ろう	20.6%	15.7%	157
16.平和と公正をすべての人に	7.3%	6.4%	61
17.パートナーシップで目標を達成しよう	8.0%	5.8%	59
⑩貢献できるのか分からない	9.0%	20.6%	151
⑨貢献できないと感じている	1.0%	2.8%	20
合計	100.0%	100.0%	907

第二部 アンケート② ワンフェスユース実行委員編

第二部では、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth2021（以下ワンフェスユース¹）の高校生実行委員を対象として行ったアンケート調査結果を報告します。

実行委員の皆さんは、元々 SDGs とも関係するような様々な社会課題・世界課題に関心を持ち、自分にできることを考えている中で、ワンフェスユースに出会い、実行委員に応募してきてくださいました。第二部【ワンフェスユース実行委員編】の調査は、そのような社会や世界への関心の高いユースたちが今何を考えているのか、SDGs に対してどのような意見を持っているのかをより詳細に明らかにするべく行ったもので、第一部の【関西の中高大学生編】とは別に実施したものです。アンケートの設問・内容も、第一部のものよりも自由記述に比重を置いた構成となっています。紙幅の都合上すべての自由記述回答の掲載はできませんでしたが、主な回答としてできる限りのものを掲載しました。

アンケートを通して、まず何よりも実行委員の皆さんの意識・関心の高さが明らかになりました。特に最後の〈問 6.〉の自由記述回答からは、2030 年までの SDGs 達成に対する焦りを感じながらも、自分にできることから取り組んでいきたいという意欲や、そのためにどうすれば良いかというところまで視野に入れながら悩み考えている姿が伺えます。

また、自由記述だけでなく数値面からも、そうした前向きな姿勢を読み取ることができました（〈貢献できるのか分からない〉・〈貢献できないと感じている〉の数値の低さや、〈取り組んでいることがある〉の数値の高さなど）。その他、〈ゴール 5：ジェンダー平等を実現しよう〉への関心の高さや、大人の SDGs の認知度向上を訴える意見が見られるなど、多様な結果が出ています。詳細は以下の調査結果にてご確認ください。

ユースの持つ問題意識は SDGs の達成の中でどう解決することができるのか？ SDGs はユースの問題意識をカバーしきれているのか？そして、課題解決に対して動きたいというユースの気持ちが尊重されるような社会を、大人たちは作ってきたと言えるのか？様々な観点から、興味深くお読みいただけるものになっていると思

1 ワン・ワールド・フェスティバル for Youth は、(特活) 関西 NGO 協議会とワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会が主催する、高校生を中心としたフェスティバルです。詳細は〈おわりに〉 p.62 をご確認ください。

います。ぜひ、隅々まで目を通してみてください。

なお、掲載しているすべての自由記述について、ユース自身の回答をなるべくそのまま掲載できるよう、誤字脱字は最小限の修正としました。

■調査対象

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021 高校生実行委員

■回答数

17 名

■調査期間

2021 年 9 月 5 日（日）～ 12 日（日）

■調査方法

インターネット上のアンケートフォームにて回答依頼、回収

■回答者属性

学年別：高校 1 年生 8 名、2 年生 6 名、3 年生 3 名

学校の所在地別：大阪府 6 名、兵庫県 6 名、京都府 4 名、東京都 1 名



アンケート設問一覧

問 1-1 SDGs を知っていますか【必須】

- ①理解していて説明ができる ②何となくは理解している
③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない ④全く知らない（初めて聞いた）

問 1-2 SDGs を知ったきっかけは何ですか【3 つまで選択可・必須】

- ①テレビ / ラジオ / 新聞 ②雑誌 / 書籍 ③インターネット（SNS 以外） ④ SNS ⑤企業の取組
⑥小学校 ⑦中学校 ⑧高校 ⑨職場 / 仕事 / アルバイト先 ⑩家族 / 知人 / 友人 ⑪その他

問 1-3 『SDGs』と聞いて思い浮かぶことは何ですか（キーワードを書き出してください）【必須】

問 2-1 SDGs に関心がありますか【必須】

- ①とても関心がある ②関心がある ③どちらともいえない ④あまり関心がない ⑤全く関心がない

問 2-2 SDGs の 17 のゴールのうち、ご自身がより気になるものはどれですか【3 つまで選択可・必須】

- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 2-2(1) その理由は何ですか【必須】

問 2-3 SDGs の実践で知っているものがあれば、書き出してください（自治体、企業、NGO、学校などの組織によるもの）【任意】

問 2-4 SDGs に 18 番目のゴールを追加するならば、どのようなゴールを設定しますか【任意】

問 3-1 SDGs に関係する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください

- ・「行動の 10 年」 ・「5 つの P」 ・「誰ひとり取り残さない」 ・「エシカル」 ・「サステナブル」 ・「MDGs」
・「169 のターゲット」 ・「2030 アジェンダ」 ・「メジャーグループ」

問 3-2 なぜ今、SDGs が重要視されていると思いますか<回答例：このままだと環境破壊が進んでしまうから>【必須】

問 3-3 SDGs の 17 のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 3-4 SDGs の 17 のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】

- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17

問 3-3-4(1) 日本と世界のより深刻な課題として、それらのゴールを選んだ理由は何ですか（全項目について書き出す必要はないので、書ける範囲で書いてください）【必須】

問 3-5 SDGs の 17 のゴールそれぞれの『具体的な課題』や『想定できる具体的な取り組み』について、思いつくものがあれば書き出してください【任意】

問 3-6 自分の生活エリア（地域）では、SDGs の取り組みが行われていると感じますか【必須】

- ①行なわれていると感じる ②行なわれていると感じない

問 3-6(1) どのようなことから、そのように感じますか【必須】

問 3-7 SDGs は、どのような課題や問題点があると思いますか【任意】

問 4-1 SDGs 達成のために自分が貢献できると思うゴールはどれですか【複数選択可・必須】

1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・
貢献できるのか分からない・貢献できないと感じている

問 4-2 SDGs 達成のために現在取り組んでいることがありますか【必須】

- ①取り組んでいることがある ②取り組んでいることはない

問 4-2(1) SDGs 達成のために取り組んでいることは何ですか【①を選んだ回答者必須】

問 4-2(2) 取り組んでいない理由は何ですか<回答例：取り組み方が分からないから>

【②を選んだ回答者必須】

問 4-3 まだ実践していないもので、今後取り組みたいと思っていることがあれば書き出してください【任意】

問 4-4 SDGs の推進のために必要なことは何だと思えますか（個人・自治体・組織など、自由な視点で思いつくものがあれば）【任意】

問 5-1 普段、SDGs の情報をどのように得ていますか【複数選択可・必須】

- ・テレビ / ラジオ / 新聞 ・雑誌 / 書籍 ・インターネット（SNS 以外） ・SNS ・企業の取組
・学校 ・職場 / 仕事 / アルバイト先 ・家族 / 知人 / 友人 ・その他

問 5-2 どのくらいの頻度で SDGs の情報収集を行っていますか（自分から積極的にこなっているものについて）【必須】

- ①毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④年に数回程度 ⑤行っていない

問 5-3 SDGs の情報収集のためにフォローしているアカウントなどがあれば記入してください【任意】

問 5-4 学校の授業で SDGs に触れる機会はどれくらいですか【必須】

- ①毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④年に数回程度 ⑤機会がない

問 5-5 周囲の人と SDGs の話をすることがありますか【必須】

- ①話をすることがある ②話をすることはない

問 5-5(1) 誰と、どのような内容話を話しますか【①を選んだ回答者必須】

問 5-6 SDGs の情報や実践を SNS などで発信していますか【必須】

- ①発信している ②発信していない

問 5-6(1) どのような方法で、どのような内容を発信していますか【①を選んだ回答者必須】

問 5-7 世の中の SDGs に関する情報発信は十分だと思いますか【必須】

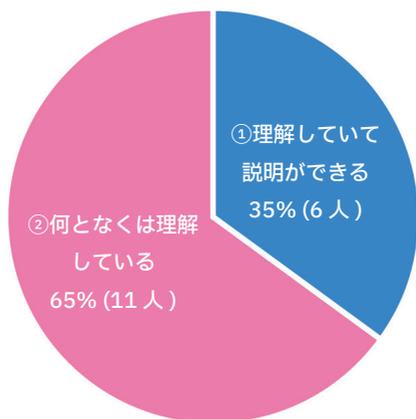
- ①十分だと思う ②十分だと思わない ③よく分からない

問 5-8 SDGs をより深く知るために、企画してほしい授業やイベントなどはありますか【任意】

問 6 アイデア・考え・思いなど、SDGs に関することを何でも自由に記入してください【必須】

調査結果

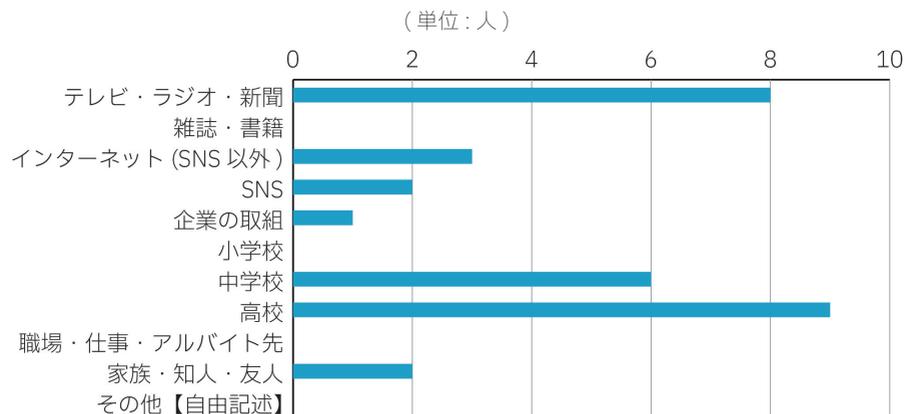
問 1-1 SDGs を知っていますか【必須】



③言葉は聞いたことがあるがよくわかっていない 0%

④全く知らない（初めて聞いた） 0%

問 1-2 SDGs を知ったきっかけは何ですか【3 つまで選択可・必須】

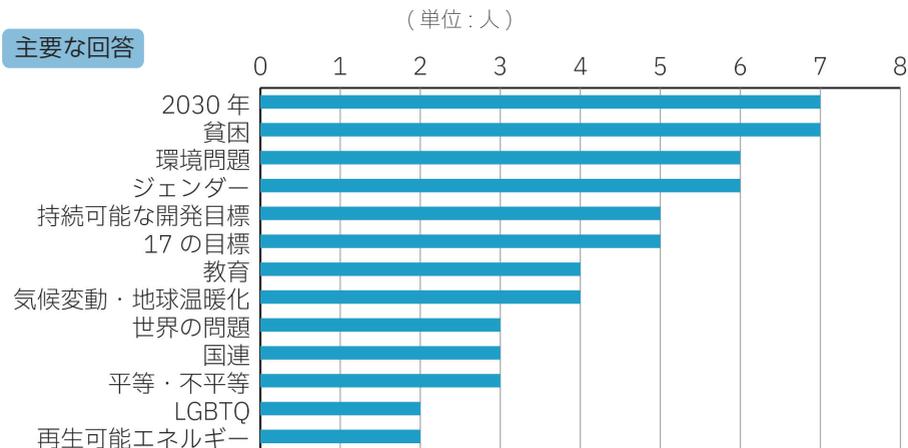


comment!

【関西の中高大学生編】と良く似た結果になっています。最初に SDGs を知ったきっかけは、その後の関心の高さに大きく影響しないのかもしれませんが。

問 1-3 『SDGs』と聞いて思い浮かぶことは何ですか

(キーワードを書き出してください)【必須】



その他の回答

MDGs、SDGs バッジ、誰一人取り残さない

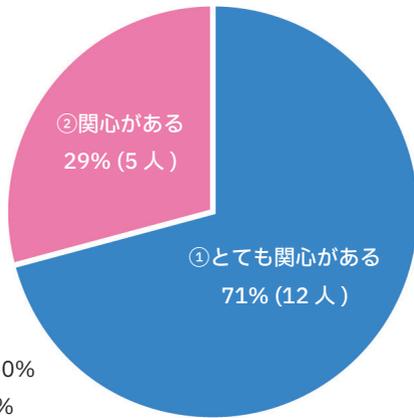
パートナーシップ、協力、人権、平和、平等な教育、貧困教育、グローバル、ユニバーサルマナー、女性の権利運動、UNWOMEN、法、低賃金、責任、社会、社会貢献、企業、経済成長、倫理的、責任、持続可能な社会

エコ、脱炭素社会、森林破壊（火災）、フロン、エネルギー、電気、用水路、井戸、砂漠化、海洋プラスチック問題、プラスチック問題、温室効果ガス排出削減、パーム油、海、ゴミ問題、食品ロス、水質汚染、大気汚染、太陽光発電、風力発電
アフリカ、難民、シリア難民、アフガニスタンの紛争（タリバン政権）、広島平和記念公園、原爆ドーム、核兵器禁止条約、産業革命、第二次世界大戦、パリ協定

comment!

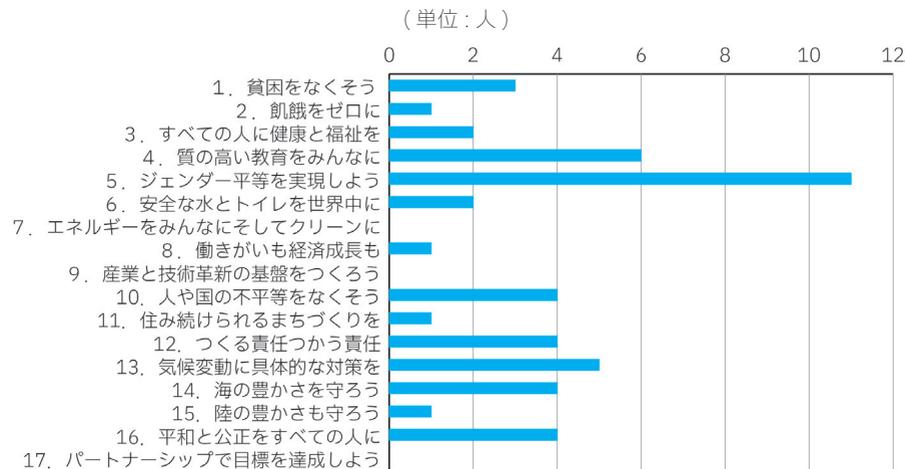
SDGs の理念や考え方などから具体的な課題、問題に至るまで、幅広い回答が得られました。また核兵器や原爆に関するキーワードもあがっていますが、SDGs は核兵器に直接的に触れてはいないものの、深く関連しているとも言われます。SDGs で直接的に言及されていない事柄にも積極的に目を向け、包括的な視点を持つ姿勢をこれからも大切にしてほしいと思います。

問 2-1 SDGs に関心がありますか【必須】



- ③どちらともいえない 0%
- ④あまり関心がない 0%
- ⑤全く関心がない 0%

問 2-2 SDGs の 17 のゴールのうち、ご自身がより気になるものはどれですか【3 つまで選択可・必須】



comment!

【関西の中高大学生編】の結果と比べ、<ゴール 5 >の数値が高いこと、また <ゴール 9・17 >の数値が低いことは共通していますが、その他のゴールの数値は共通点がありません、バラつきが見られました。

問 2-2(1) その理由は何ですか【必須】

主な回答

【4. 質の高い教育をみんなに】

・教育を受けられないことが、将来の道まで狭めてしまっている、それが重大な問題だと思うからです

【5. ジェンダー平等を実現しよう】

・この問題は特に、日本にも関係しているものと思ったから。最近特に話題になっていて、個人的に、日本の法律では同性婚が禁止されていることに不満を覚えているから

・実際に LGBTQ の当事者の方のお話を聞いたし、7%いるというとても身近な SDGs だと思うから

comment!

後述のように日本のジェンダー平等の遅れに対する関心の高さも垣間見られるものの、<自身が気になるゴール>についてのこの問では、それ以上に <ゴール 5 > が LGBTQ+ (性的マイノリティ) への関心の高さの受け皿になっている現状が見受けられます。(実際には、SDGs のゴール 5 ではそのターゲットや指標も含め、性的マイノリティや LGBTQ+ への直接的な言及はなされていません。)

【8. 働きがいも経済成長も】

・学校の授業で 8 番に関するプロジェクトを行っているから

【10. 人や国の不平等をなくそう】

・差別などの不平等な扱いは絶対にあってはならないと思っているから

【12. つくる責任つかう責任】

・今まで、安いからと買っていた服の背景を知って、興味がある

・中学校の自由研究でフェアトレードについて調べたことがあり、生産者と消費者の間で起こる問題に興味があるからです

【13. 気候変動に具体的な対策を】

- ・これからの私たちの生活に大きく関わるから

【14. 海の豊かさを守ろう】

- ・最近の新聞で、海に大量のマスクが捨てられていて、そのマイクロプラスチックを食べた魚やペンギンなどに被害を与えているという記事を読み、マスクの時代になったからこそその問題だと思い興味が湧いたから

【16. 平和と公正をすべての人に】

- ・今授業で、国連が作成した法について学んでおり、世界には国民にとって不利な法律も沢山あることを知ったから

※以下、回答【】内の数字は各ゴールの番号を表す

- ・【3・4・6】医療関係の仕事に就きたいため、3番の『すべての人に健康と福祉を』についてはよく考えます。『質の高い教育』は私たち日本人や先進国の人たちは教育を受けたくないという人がいますが、それ以前に教育を受けることすらできない子どもたちが世界中に何人もいますからです。『安全な水とトイレを世界中に』については、中村哲さんを知ったときに用水路や井戸が簡単でないところが世界にはあるんだと考えたからです
- ・【4・5・10】他の目標に比べて思想など考えや価値観を理解したり改めることで比較的達成しやすいと思うから
- ・【5・12・15】何も悪くない陸の動物達を危機に晒したくないし、12番を達成すると温暖化が減ると思うし、5番は24時間テレビを見てから深く考えるようになったからです

comment!

<自身が気になるゴール>を問うと、学校やメディアなどやはり自分の身近なところをきっかけとした回答が多く見受けられます。また、SDGsを知るきっかけや普段の情報収集で学校・メディアが大きな役割を果たしているのは<問 1-2>、<問 5-1>の結果からも読み取れます。

問 2-3 SDGs の実践で知っているものがあれば、書き出してください（自治体、企業、NGO、学校などの組織によるもの）【任意】

- ・リサイクル
- ・スーパーなどのお店でのレジ袋削減、ガソリン車の削減
- ・子ども食堂
- ・企業の植林活動
- ・い・ろ・は・す（コカ・コーラ）
- ・フェアトレード企業（ピープルツリー・Dari K・PARCIC など）、水打ちを一齐にやるプロジェクト、分別したくなるゴミ箱づくり（中学校の生徒会にて）、植樹
- ・難民支援・研究団体 PASTEL、難民支援協会（JAR）、テラ・ルネッサンス

comment!

比較的关注が高いと思われるワンフェスユース実行委員の皆さんであっても、具体的な NGO の名前を挙げたのは一名だけでした。NGO 自体とその取り組みの認知向上も、まだまだ余地がありそうです。

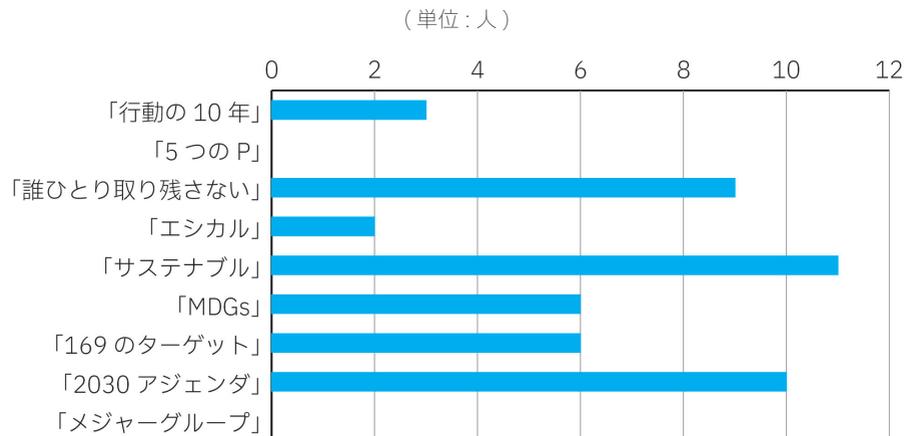
問 2-4 SDGs に 18 番目のゴールを追加するならば、どのようなゴールを設定しますか【任意】

- ・食べ残し、無駄遣いを無くそう
- ・動物愛護
- ・あらゆる武器を世界から排除しよう
- ・子供の社会参加
- ・すべての人の心の安定
- ・自分の生活から見直そう。私たちの行動が未来につながる

comment!

武器問題やメンタルヘルス、子どもの社会参加など、実際に SDGs で大々的には言及されていない部分をカバーするようなものがあがっています。

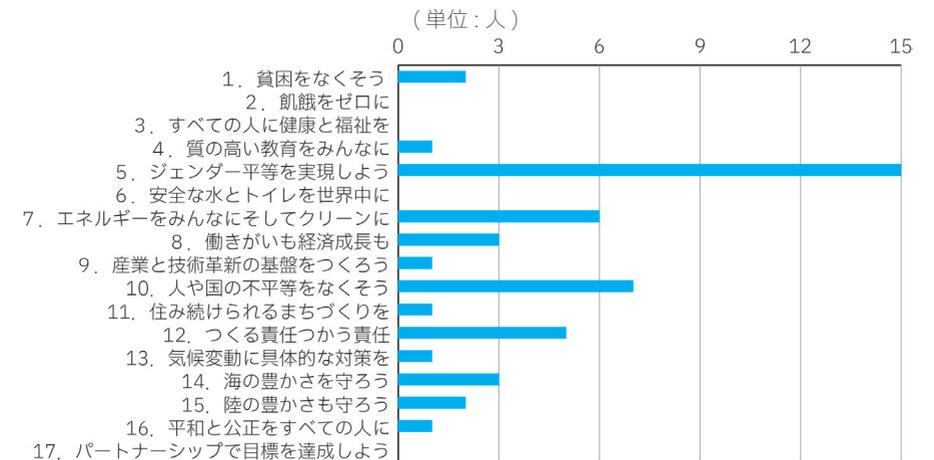
問 3-1 SDGs に関する言葉について、知っているもの全てにチェックを入れてください



問 3-2 なぜ今、SDGs が重要視されていると思いますか。回答例：このままだと環境破壊が進んでしまうから【必須】

- ・現状のまま世界が動き続けると、環境破壊・戦争多発・飢餓が増加など、世界によりもっと問題が増えてしまう。それによって私たち人間が困ることにもなるから
- ・便利な技術がたくさん生まれている今の時代、便利という利点の半面何かを犠牲にしていることが多い(ペットボトルとか)。便利というのはすごく私たちにとっていいことだけど、このままだと自分たちの子供やその先の人たちは生きていくのが難しくなると思う。今生きている人たちが満足していたとしても、この先もずっと続くこの世界を壊してはいけないから
- ・人間が世界を壊して、それが人間だけでないさまざまなものに影響を及ぼしているので、人間が世界をより良くすべきだから
- ・すべての人、生き物が健康で差別のないように暮らしていけるようにするため
- ・目標やゴールがないと変わらないから。変わらないと地球が壊れてしまうから。課題が明らかになっているから
- ・2030年という期限付きであることと、実際に海面上昇や大気汚染などで苦しみを受けている国が出てきたから

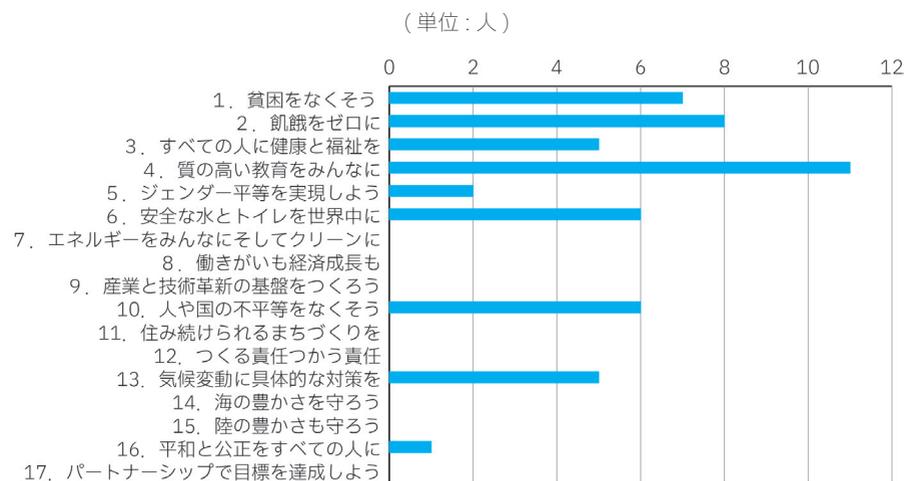
問 3-3 SDGs の 17 のゴールのうち、日本でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】



comment!

【関西の中高大学生編】の結果と同様、<ゴール5：ジェンダー平等を実現しよう>が最もたくさんの票を集めました。持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN：Sustainable Development Solutions Network）とベルステルマン財団（Bertelsmann Stiftung）によって作成されている Sustainable Development Report でも、日本のゴール5の評価は5年連続で赤（主要な課題が残っている／4段階のうち最も悪い）となっています。次の<問3-4>では結果が大きく異なっていることや、それらの理由を尋ねた<問3-3・4(1)>の回答とも考え合わせると、世界から見た日本のこうした現状・課題が、ユース世代の間でも認識されていると言えるでしょう。

問 3-4 SDGs の 17 のゴールのうち、世界でより深刻な課題だと感じるゴールはどれですか【3 つまで選択可・必須】



comment!

<問 3-3>に比べ<ゴール 1・2>の数値が大きくなるのは【関西の中高大学生編】と共通していますが、一方で<ゴール 4>の数値の高さが目立ちます。実際、2021年12月に開催したワンフェスユース 2021 の中でも、アフガニスタンの教育問題を扱ったプログラムがありました。

問 3-3・4(1) 日本と世界のより深刻な課題として、それらのゴールを選んだ理由は何ですか(全項目について書き出す必要はないので、書ける範囲で書いてください)【必須】

※以下、回答【】内の数字は各ゴールの番号を表す

日本に関して

・【5・7・8】日本は海外に比べジェンダーの認知度が低い。経済成長もここ数十年ほとんど成長がない。エネルギーについては電気自動車の切り替えをもう少しはやめていった方がいいと思った

・【5・8・14】日本はほかの国よりも、団体に所属しなければいけないという習慣とか概念が根強く残っていて、みんなと違うことがよくないとされている。さらに、昔からある商店街がなくなったりしている。その背景にはショッピングモールや

ネットショップがあるからだと思う。日本の海もどんどん汚くなって、生態系が壊されつつあると思う

・【5・9・10】日本は世界に比べて男女平等が進んでいない例が多くあります。例えば会社や政府などの重役にはほぼ男性がついているなど格差は大きいと感じたのでそこをメインに選びました

・【12・14・15】最近食べ残しが問題になっており、それは人々がつかう責任をしっかりと分かっていないからだと思ったから。また、マスクの海へのポイ捨てや森林破壊も大きな問題になっているから

世界に関して

・【1・2・6】一部の貧困を減らせたとしても世界全体として貧困や飢餓を無くすのは難しく深刻だと考えるため

・【1・4・10】世界や住む地域によって貧困で十分な教育もなく食べるものもなく餓死してしまってもっと平等な世界を実現してほしい

・【2・3・6】世界では紛争やクーデターにより命が脅かされる人もいて、それらは大変問題だと思います

・【2・3・10】世界では、何日もご飯を食べられなかったり、学校に行けず、ごみを漁って少ないお金をもらっている人がいる。コロナという世界一体となって戦わなければいけないウイルスがあるのに、ワクチン格差が顕著に出ている

・【2・4・5】世界は、食品ロスの数が多いのとすべての人が教育を受けれてるわけじゃないのでそこが課題かなと思いました

・【2・4・13】世界的に見ると貧困や気候変動などがあがってくるのでそこを選びました

・【3・4・16】私は絶対差別や差はあってはいけないと思ったので世界ではそういう系を選びました

日本・世界に関して

・【日本 1・5・10、世界 1・3・6】世界では、特にアフリカの方では絶対的貧困、日本では相対的貧困が深刻な問題だと思うから。世界で安全とは言い難いもので生活している人がたくさんいるから。まだまだ不平等なことが残っているから

問 3-5 SDGs の 17 のゴールそれぞれの『具体的な課題』や『想定できる具体的な取り組み』について、思いつくものがあれば書き出してください【任意】

1. 貧困をなくそう

- ・ 経済成長
- ・ 相対的貧困にも目を向ける
- ・ 先進国が発展途上国を助ける
- ・ 規格外となった野菜や果物を、貧困に苦しむ家庭に無償で提供する
- ・ 子供食堂の普及、広報

comment!

開発途上国や低所得国と言われる国・地域での貧困問題だけでなく、日本国内での貧困問題にもきちんと意識が向けられていることが伺えます。

2. 飢餓をゼロに

- ・ 食品ロスをなくしていき全ての人に食事を届けられるようにする
- ・ 募金、日持ちする食料調達
- ・ 食糧生産を増やす
- ・ 少ない降水量の地域でも少しのお金で沢山の作物を育てられるようにする
- ・ 飢餓で苦しんでいる国に、農業の方法を教える

3. すべての人に健康と福祉を

- ・ 医療従事者不足
- ・ 衛生指導、病院の開設
- ・ 発展途上国に医師を派遣し、その国で医師になりたいと思っている人に技術などを教える
- ・ 定期的な診断の呼び掛け、仮設住宅
- ・ 誰でも病院に行けるようにする
- ・ ワクチンの提供

4. 質の高い教育をみんなに

- ・ まずは教師を集めることから始めるべきだと思う

- ・ 教育をメインに活動するボランティアがもっとでてきてほしい
- ・ 世界で文字が読めない人が多くいるので、まず、自分の母国語である言語の勉強から始める
- ・ 在日外国人の日本語指導
- ・ 教育は絶対義務にする
- ・ 義務教育の質をあげる、少人数での教育
- ・ 文房具寄付、無償の学校づくり

5. ジェンダー平等を実現しよう

- ・ 相互理解
- ・ 教育に取り込み認知してってもらい、当たり前だということを伝えていく。広めていく
- ・ 公表するのが怖い、恥ずかしいという気持ちを持たずに過ごしていけるようにするために理解を深める
- ・ パートナーシップ制度を広げる
- ・ LGBT にも通用する社会、公共施設を男女で分けない
- ・ 性的マイノリティがある子とでも仲良くする、多目的トイレを増やす

6. 安全な水とトイレを世界中に

- ・ 水道会社などの不足
- ・ 日本の水を作る技術を途上国に教える
- ・ 水タンク車を運転させる
- ・ 浄水施設の設立

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・ エネルギー問題についての理解、技術革新
- ・ 再生可能エネルギーを今以上に広める
- ・ 水素エネルギーなどを使う
- ・ 火力発電、原子力発電を少なくして風力発電や太陽光発電に変える
- ・ 太陽光パネルを家の屋根に設置、電気をつけっぱなしにしない

8. 働きがいも経済成長も

- ・ 経済について義務教育で考える
- ・ 仕事における男女差別をしない
- ・ 労働者に対して企業が働きやすい環境をつくる
- ・ 外国人労働者や障害を持っている方々の最低賃金を必ず守るように行政がしっかりと支援する

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・ 先進国の技術を取り入れて新しくつくる
- ・ 温室効果ガスを一定数減らす
- ・ イノベーションがしやすいように、規制を減らしていく

10. 人や国の不平等をなくそう

- ・ さまざまな人の事を思いやる
- ・ まず自分が一人一人を対等に見られる視点を持つ
- ・ アジア人だから〇〇など、偏見を捨てる
- ・ 平等な関係にするために、まずは、コミュニケーションを取ることが必要だと思う
- ・ 途上国に技術支援

comment!

意識や考え方に起因するいわばソフト面と、技術支援などで解消を試みるハード面、双方の<不平等>に言及がなされています。

11. 住み続けられるまちづくりを

- ・ 自然環境の維持、最大限の科学技術をつかい続けると自然はなくなっていく
- ・ ポイ捨てなど住民が不快に思うことをしない、環境にいい街づくり
- ・ グリーンルーフの普及
- ・ 誰もが心地よく住むことができるように、バリアフリー化をする

12. つくる責任つかう責任

- ・ 先進国の人の意識をさらに高める

- ・ ひとつの物にかかる労力の理解
- ・ ファストファッションを減らす。6割売れば大成功というアパレル業界のビジネスモデルを廃止すべき
- ・ つくる側は、環境に配慮し、つかう側は、何でもかんでも物を買わないようにする
- ・ 食品ロスを減らす、フェアトレード商品を買う、トレーサビリティに配慮する
- ・ 3Rを進める

13. 気候変動に具体的な対策を

- ・ 原因の理解
- ・ 気候変動がもたらす影響をまず、私たちが詳しく知ることが必要だと思う。世界の様々な人の気候変動に対する対策を聞くことも大切だと思う
- ・ 再生可能エネルギーについての研究を率先してする
- ・ 二酸化炭素が出ない取り組み
- ・ 電気自動車の値段を安くしてみんなが買いやすいようにする
- ・ 農家にアグロフォレストリーをすすめる、災害による避難の準備

14. 海の豊かさを守ろう

- ・ 海洋プラスチックの危険について先進国の人が身近に感じられるような教育をする
- ・ プラスチックゴミが原因で亡くなった海に住む生物の数をまず知ることが大切だと思う
- ・ もう少し海を規制する（簡単に入れないようにする）
- ・ 海岸の清掃、ポイ捨ての罰則
- ・ プラスチックの再利用
- ・ ゴミは分別し、ポイ捨てしない

15. 陸の豊かさも守ろう

- ・ 1年間で失われている森林の面積や、1年間に密猟により亡くなった動物の数を知ることが大切だと思う
- ・ 森の素晴らしさ、自然の豊かさを伝える
- ・ 植林

- ・森林伐採しない
- ・ポイ捨ての罰則

16. 平和と公正をすべての人に

- ・平和とは何か、公正とは何かについて考える機会が必要だと思う
- ・国のトップが国民の意見を取り入れるようにする
- ・戦争をなくす
- ・差別意識を持たない、核兵器を持たない

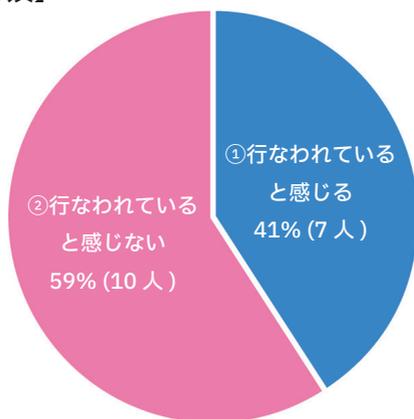
17. パートナーシップで目標を達成しよう

- ・グローバルな視野をもつ
- ・自分の国だけでなく、他の国とも助け合う
- ・共通点のあるテーマで海外の人とのコミュニティを作る
- ・1～16の目標を達成させるために、一人一人が意識して協力する必要がある

comment!

具体的なイメージがしやすいゴールとそうでないゴールがある中で、どのゴールに対しても多くのコメントが寄せられていて、ワンフェスユース実行委員の皆さんのSDGsに対する関心や意識の高さが伺えます。

問 3-6 自分の生活エリア（地域）では、SDGs の取り組みが行われていると感じますか【必須】



問 3-6(1) どのようなことから、そのように感じますか【必須】

「①行なわれていると感じる」を選んだ回答者

- ・青少年への制度が隣の市と比べて充実している
- ・募金活動が行われていたり選挙などの時に政治家がSDGsの話に出したりしているから
- ・学校では、「SDGs」というクラスや「グローバルシチズンシップ」「シチズンシップ」「日本語」などの授業や探求授業を通して自分たちがSDGsを考えているし、実際に学校でも行われているSDGsがある
- ・天ぷら油の回収をしてバスのガソリンに使うや、学校でのグリーンカーテンなどの取り組みが行われている

「②行なわれていると感じない」を選んだ回答者

- ・あまり地域で聞いたり、ポスターを見ることがないから
- ・田舎なので作物は豊富ですが、SDGsについて話している人やそういった交流会のものがない
- ・私の通っている高校のコースでは、ちょっとずつではあるけど取り組みが行われていると思うけど、それ以外だとそんな感じないかなと思います
- ・無農薬野菜の販売など見かけない。建物を建設するために自然をなくしていつている。排気ガスが大量に出ている工場などが立ち並んでいる
- ・虫などの苦情から木が伐採されている

問 3-7 SDGs は、どのような課題や問題点があると思いますか【任意】

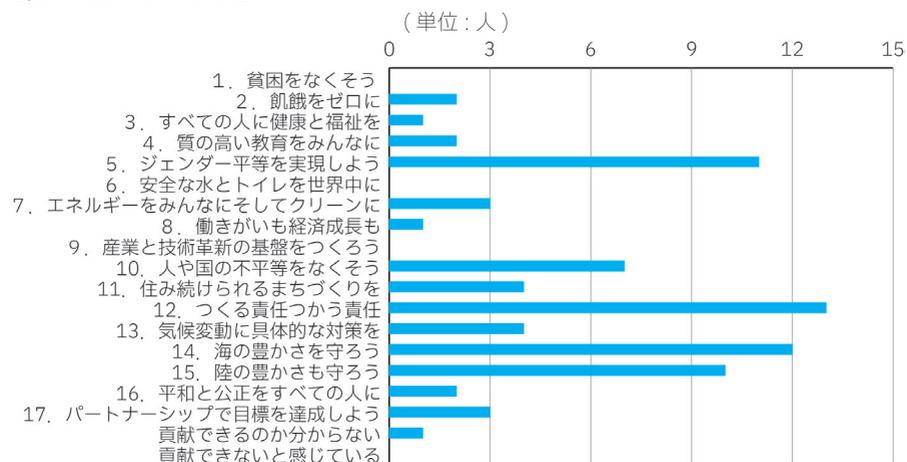
- ・大人の認知度が低い
- ・2030年までの目標ですが、国ごとの目安にする基準が現実とかけ離れているところがあります
- ・抽象的な課題が多いこと、掲げた目標の代償がわからないこと
- ・SDGsの事はわかってるけど実際にどのような事したらいいのかがあまりわからないのかなと思います
- ・もちろん、全ての問題を解決することはとても重要な事だとは思いますが、2030年までに全てを達成できるとは思えない。特に、貧困をなくそうや飢餓を無くそうはかなり難しく大きな問題だと思う
- ・企業のメリットであることしか考えていない会社があること。知っただけで実践

しない人がいること。塵も積もれば山となるのに、自分がただだけでは何も変わらないのだと決めつけて行動しない人がたくさんいること。世界の流行にのって、食べ物を簡単にすてたり食べなくしたり本来の目的とは違う使い方をしてる人がたくさんいること

comment!

大人の認知度の向上を促す回答が複数ありました。このことは、グレタさんに代表される、気候変動対策における世界中のコースの主張との重なりを思わせるものがあります。また、具体性に欠けていて実践に結びにくいというような回答も複数ありました。この点については、SDGs の 17 のゴールは随分浸透したものの、169 のターゲットや 232 の指標の認知度はまだ低いということとも関連すると思われます（参考：<問 3-1>）。

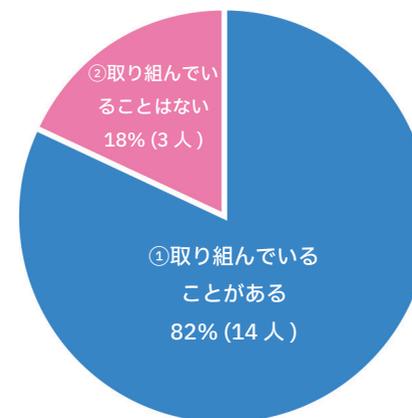
問 4-1 SDGs 達成のために自分が貢献できると思うゴールはどれですか【複数選択可・必須】



comment!

<ゴール 1 から 17>の数値の分布は【関西の中高大学生編】とかなり近い結果となりましたが、一方で<貢献できるのか分からない>・<貢献できないと感じている>の数値については【関西の中高大学生編】よりかなり低いことがわかります。このことは、自身の取り組みについて尋ねた次の<問 4-2>で見られる傾向とも整合性があると言えます。

問 4-2 SDGs 達成のために現在取り組んでいることがありますか【必須】



comment!

<取り組んでいることがある>という回答が、【関西の中高大学生編】の結果よりかなり大きな割合を占めています。

問 4-2(1) SDGs 達成のために取り組んでいることは何ですか【①を選んだ回答者必須】

- ・ 周りの人への発信、気楽に話すように発信すること
- ・ 他者理解を深める、プラスチックの分別
- ・ ものすごく身近なことですが、SDGs の 12 番の解決につながる取り組みのフェアトレード活動をしている企業の商品を買ったり、エコバック・マイボトルを持参、食べ残しをしないなど身の回りのことに気を遣っています。一度フェアトレードに関するワークショップを学校でやったことはあります。少しの期間だけ学生団体を作って活動していました
- ・ 食事を残さない事、ジェンダー平等について調べた事、リサイクル、ゴミを捨てない事、分別する事、授業内で行った難民について調べた事です
- ・ エコバックを持ち歩きビニール袋の使用を避けること、フードロスを減らすため賞味期限を考えて食料を買ったり量を調節していることなど
- ・ 古着を取り入れていたり、自宅で野菜を育てています。また、お風呂の残り湯の利用やオーガニック製品を取り入れています

問 4-2(2) 取り組んでいない理由は何ですか<回答例：取り組み方が分からないから>【②を選んだ回答者必須】

- ・ゴミを減らしたり、節電などは日頃意識しているがそれがSDGs達成につながっているとはあまり感じないから
- ・取り組みたいのだが、募金にしても両親が稼いだお金なので簡単に消費はできないから。また、私は今学習机が家に余っているのだが、それをどうしたら活用できるのかわからないから

問 4-3 まだ実践していないもので、今後取り組みたいと思っていることがあれば書き出してください【任意】

- ・人の考えを変えること
- ・陸の豊かさを守るために、密猟などに関する情報を知りたい
- ・住み続けられるまちづくりが、どういうことをしていったらよくなっていくのが気になります
- ・途上国への支援
- ・海沿いのごみ拾いボランティア、炊き出しのボランティア、子供食堂のボランティア、サステナブルワークショップ
- ・自転車や公共交通機関での移動

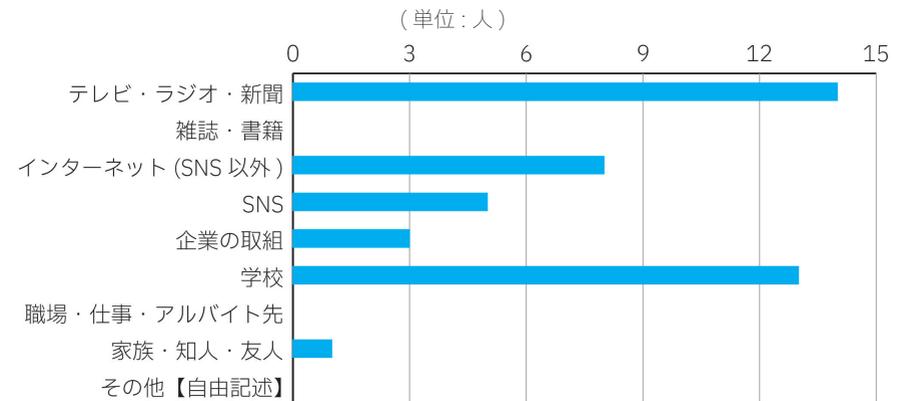
問 4-4 SDGsの推進のために必要なことは何だと思いますか（個人・自治体・組織など、自由な視点で思いつくものがあれば）【任意】

- ・国が法を整備して、企業や団体を強制的に動かすべきだと思います
- ・個人がSDGsへの認識を深めるだけでなく政府や自治体も協力して動かなければならない
- ・まずは100%全ての人に知ってもらう必要があると思う
- ・学校や企業でSDGsについて考える機会を増やす
- ・世界の現状をよく知る
- ・一人一人の行動と理解
- ・一人一人が少しでもいいから無駄をつくらないようにし、それによってどれだけ自分が社会環境に貢献したかを目にわかるようなアプリがあればいいと思う

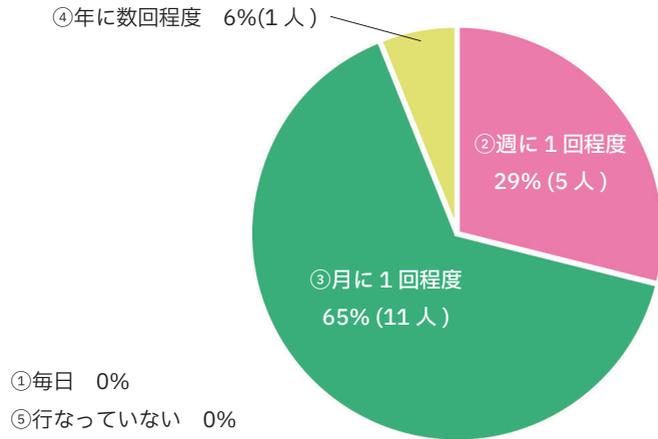
comment!

理解の中身や質の改善についてはほとんど言及がなく、まずはSDGsの認知度を上げていく、そして行動をしていく必要があるということを喫緊の課題と捉えている様子が伺えます。「グリーンウォッシュ」ならぬ「SDGsウォッシュ」という言葉も出てきていますが、大人の発言や行動に影響を受けやすいユースだからこそ、理解や行動を促進する動きの中でも全てを鵜呑みにするのではなく、批判的な視点や疑問を持つことを忘れないでほしいと感じます。

問 5-1 普段、SDGsの情報をどのように得ていますか【複数選択可・必須】



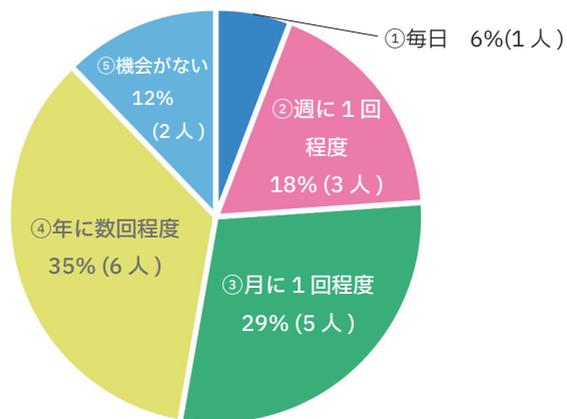
問 5-2 どのくらいの頻度で SDGs の情報収集を行っていますか（自分から積極的に行なっているものについて）【必須】



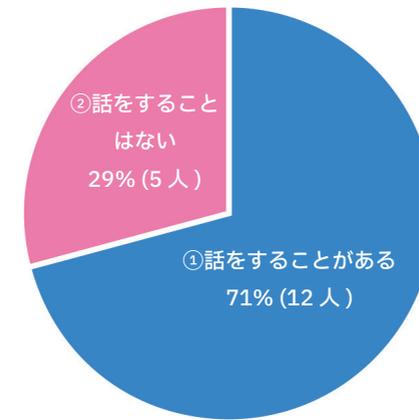
問 5-3 SDGs の情報収集のためにフォローしているアカウントなどがあれば記入してください【任意】

- ・ < ROLA >モデルなどで活躍されている方なんですけど。環境問題について SNS で沢山発信している。また環境にいい洋服を多数販売している
- ・ 同級生が実際に行っているプロジェクトのアカウント

問 5-4 学校の授業で SDGs に触れる機会はどれくらいですか【必須】



問 5-5 周囲の人と SDGs の話をすることがありますか【必須】



問 5-5(1) 誰と、どのような内容を話しますか【①を選んだ回答者必須】

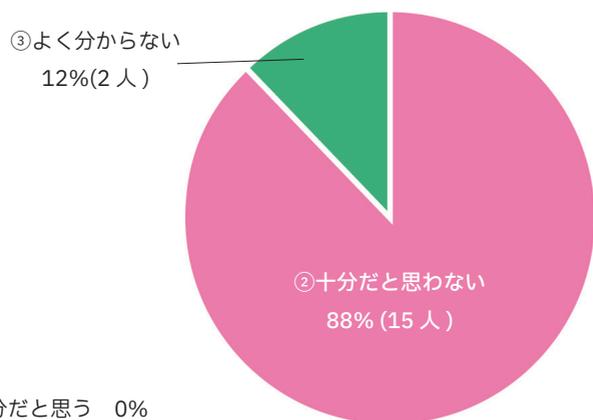
- ・ 友達や、家族、先輩と気候変動対策について
- ・ 家族と女性の権利について
- ・ かなり仲の良い友達と、LGBTQ や環境問題について
- ・ 友達や家族とオーガニックの商品についてや、プラスチックの容器ではない環境にいいものはないかなど
- ・ 先生やクラスメイトと、問題点や自分たちが出来ることなど
- ・ 友達と授業で SDGs について取り扱った時や、最近のニュースになどについて話したりする

問 5-6 SDGs の情報や実践を SNS などで発信していますか【必須】



①発信している 0%

問 5-7 世の中の SDGs に関する情報発信は十分だと思いますか【必須】



①十分だと思う 0%

問 5-8 SDGs をより深く知るために、企画してほしい授業やイベントなどはありますか【任意】

- ・ 17 個の項目だけでなく世界について詳しい事を聞ける授業をしてほしいです
- ・ SDGs のそれぞれの目標に対して、日本や世界で行われている活動と、私たちができることを話し合うイベントや授業
- ・ 具体的には思いつきませんが、貧困の国での生活を体験する授業があるといいなと思います。一度体験してみたことがあって、自分の生活が恵まれていることをと

ても実感しました

- ・ コロナ禍でなければ、実際に問題を抱えてる国へ行ってみたい
- ・ ボランティア活動
- ・ SDGs について自分たちができる取り組みを考え、それを期間を決めて実践し、どんな結果になったのかということを実際にしてもらいたいと思う
- ・ SDGs を大人に知ってもらいたい機会が欲しい

問 6 アイデア・考え・思いなど、SDGs に関することを何でも自由に記入してください【必須】

- ・ SDGs の達成は世界の共通認識にするべきだと思う
- ・ 一人一人の考えを変えるためにもっともっと、理解と、それについて考えることを深めたい
- ・ SDGs が自分たちにどう関わっているかあまりわからない。まず課題を知り、それに関する情報を集め、自分の中で考察することが大切だと思う
- ・ どの世代でも認知、理解が広まって課題解決に貢献できる社会になればいいな、と思います
- ・ あと 8 年程で SDGs が達成できるのか、疑問と不安がある。少しでも多くの人に知ってほしいと思うし、これからの社会を担うのは今の小中高生なので、小学生中学生から SDGs の話を知っていてほしいと思う。小学生中学生向けのイベントもあったら良いと思う
- ・ あと 10 年もないから、誰か一部がやっても改善される問題じゃないし、人類みんな協力することが必要不可欠だと思う
- ・ 最初 SDGs を見た時は規模が大き過ぎて自分ができることはなさそう、と感じてしまった。おそらくそう感じる人は沢山いて、そこで挫折してしまい行動を起こさない人が出てくるので、具体的にどのようなことが自分達で出来るかを知ってもらえれば主体的になっていけると思う
- ・ SDGs は、世界で問題となっていることを知ることができるので、どんどん発信していくことが必要だと思う。SDGs の達成目標は、2030 年と、近づいてきているので、より一層関心を持つことが大切だと思う
- ・ もっと色々な所で情報を発信するべきだと思う。例えば、ポスターを貼ったりテレビでも積極的に使うなど
- ・ 私も含め大体の人は SDGs について聞いたことがあっても実際に自分がどのようなことをするべきなのかということがあまりよく分かっていなく何も行動ができて

いない、と感じるため明確な解決策を提案し SNS などで広めることによって少しでも SDGs の達成に近づけると考えます

・SDGs は地球や世界の未来を考える上で重要な役割を持つと思う。世界の課題が明らかになっているし、人は目標やゴールは達成したいと思う気持ちがあるからもっと活発に活動した方がいいと思う

・日本人は私も含めて本当に知ったかぶりになっていると思う。教育現場では教えるだけ教えて、実践してどんな結果になるか試してみようということもないことが原因だと思う

・私たちが生きる世界を私たちがよくするのは当然です

・今皆さんが手に持っているものがどのように生産されて、どのような影響があるのかを理解し、環境の事を考えていってほしい。ジェンダーについてはまだまだ認知されていない部分が多くて多くの人に知ってほしい

・私たちに出来ることは少ないかもしれませんが、と、このような先入観こそ捨てるべきなのではないかと最近気づきました。私たちも十分社会を変えることは可能だと考えています。しかし、漠然と社会を変えたいと思うことは誰でもできますし、これでは何も進みません。ですので、それに加え、私は関心を持つこと、知ること、干渉すること、発信すること。このステップで一つずつをクリアしていくことで、何かを成し遂げることが出来るのではないかと考えています。始めは目に見えない小さな変化かもしれません。しかし、ゼロの状態ではありません。どこかで繋がって変化が起こりうるかもしれません。高校生だからこそその方法で強い意思を持っていれば自分で国や社会を変えることが出来ると思います

・SDGs という言葉に対して、堅いイメージがあったり、あまり実感できない、行動できない人が周りに多い気がすることがあります。そういう人に手を差し伸べられる機会が沢山あるといいなと思います。中学校ではいろいろな行動できる機会が多く、なかなか踏み出せない人がいることを実感できたり自分から SDGs に取り組めたのですが、高校に入って急に SDGs に触れる機会が0になってしまって、自分自身視野が少し狭くなった感じがします。SDGs に触れていないと SDGs が若者にとってどんなものなのかもわからないし、自分も知らぬ間に離れていってしまう気がしました。環境によって意識が変わることを実感したとともに、SDGs を教育に取り入れるべきなのではないかと思いました

・詳しいことについて何も知らないから、難しいけど、自分自身にできるものがあるれば参加したいなと思います。みんなで協力して、目標を達成していけるように小

さなことからでも始めていき、頑張りたいです

comment!

最後の〈問 6〉の自由記述は、省かずにすべての回答を掲載しています。コースたちの切実な思いが端々に表れています。

下図はそれをテキストマイニングツールでワードクラウド化したものです。この【ワンフェスコース実行委員編】の結果からは、「踏み出せる」「成し遂げる」「主体的」など、【関西の中高大学生編】に比べてよりポジティブな言葉が目立つ印象を受けます。世界の現状や課題を正しく認識し、その解決に前向きに取り組みたいと思えるような社会を、私たち関西 NGO 協議会は、これからもコースと共に作っていきたいと考えています。



おわりに

いかがでしたでしょうか。アンケート調査結果からは、「ユースにとってのSDGs」の現状がどうなっているのか、そしてそれを踏まえてSDGs達成のために今何が求められているのか、そうしたことが少しずつ見えてきているのではないかと思います。

関西 NGO 協議会は本アンケート調査について、これで終わりとするのではなく、ユースへのインタビュー等も視野に入れながら、より発展的な形での調査の継続を考えています。それらの調査を通じて、ユースがSDGsをどう捉え、地域や世界の未来をどのように考えているのか、一人ひとりの想いを聞きながら、いま市民社会に何が求められているかを考え続けていきたいと思えます。そして、ユースの声を社会に届けるための一翼を担い、ユースとともにSDGsの達成に向けて、関西 NGO 協議会はこれからも市民社会からの発信を続けていきます。今後も関心をお寄せいただけますと幸いです。



QRコード



関西 NGO 協議会について

私たちは、主に関西に活動拠点を置く NGO が全国・世界の NGO/CSO と連携を強め、NGO/CSO 同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力 NGO です。

下記にご紹介するような普及啓発活動の他、政策提言活動や相談対応、助成事業など、様々な活動・事業を行っています。詳しくは HP をご覧ください。

関西 NGO 協議会：

<https://kansaingo.net/>



SDGs in KANSAI について

SDGs in KANSAI は、市民社会の立場から、企業、教育機関、行政とのパートナーシップを重視しつつ、「自然・環境」「経済」「社会」の調和と、市民の意思を反映させた決定のプロセスを大切にしている取り組みです。SDGs が示している課題は国際社会、日本

社会、地域社会それぞれのレベルで私たちの生活と密接

に関わっています。2030 年の関西、日本、世界を想い、ぜひ

私たちと一緒に SDGs について考え、それを行動に移し、

誰ひとり取り残すことのない社会の実現に向けて歩き出

しましょう。詳しくは HP をご覧ください。

SDGs in KANSAI：

<http://kansaingo.net/kansai-sdgs/>

QRコード



QRコード



ワン・ワールド・フェスティバル for Youth について

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth は、

(特活) 関西 NGO 協議会とワン・ワールド・フェスティバル

for Youth 運営委員会が主催する、高校生を中心としたフェスティバルです。

問題を知るだけでなく、解決に向けて何かアクションを起こしたいというユースが「最初の一歩」を踏み出すべく、「高校生実行委員会」や「ボランティアリーダー」として、定期的に会議を重ね、テーマの決定、企画、運営、広報など準備をし、開催しています。詳しくは HP をご覧ください。

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth：

<https://owf-youth.com/index.html>

中高大学生を対象とした
SDGs 意識調査アンケート
調査結果報告書 2021

2022年3月発行

編集・発行 特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町 2-30 4 階
TEL：06-6377-5144 FAX：06-6377-5148
メール：knc@kansaingo.net

執筆 仲井友佳子、菅野諒子
監修 栗田佳典

装丁・デザイン 竹本綾乃

印刷 有限会社糺書房

本冊子内容及び使用されているイラストや写真の全部または一部を無断で複製・複写することは禁止します。

本調査および本冊子の作成は、独立行政法人環境再生保全機構「2021年度地球環境基金」の助成を受けて行いました。



この印刷物は、自然エネルギー（バイオマス発電 6.5kWh）を使用して印刷しました。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナリシップで目標を達成しよう